

平成26年度  
宮崎県保育士実態調査

保 育 士 用



宮崎県 福祉保健部 こども政策局こども政策課幼保連携担当  
一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会 (委託団体)

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

「幼児教育・保育人材確保推進事業」において、雇用のミスマッチの原因を明確にするための基礎資料を得る

### 2. 調査内容

◆保育所・園：設問 1～15、保育行政などについての意見・提案

◆保育士：設問 1～31、保育士としての就労や労働環境などについての意見・提案

### 3. 調査の方法

本調査は「保育士登録者調査」と「保育施設調査」の2種類の調査を実施した

◆調査地域：宮崎県全域

◆調査対象：

・保育所・園、幼稚園、認定こども園

・保育士、幼稚園教諭、認定保育園保育者

◆調査方法：郵送による調査票の配布、回収

◆調査時期：保育所・園～平成 26 年 10 月 9 日～10 月 24 日

幼稚園、認定こども園～平成 27 年 1 月 27 日～2 月 9 日

### 4. 回収状況

保育所・園

◇配布数：施設：333 票 保育士：1,699 票

◇回収数：施設：265 票 保育士：1,346 票

◇有効回収数：施設：264 票 保育士：1,346 票

◇有効回収率：施設：79.2% 保育士：79.2%

### 5. 集計にあたっての留意事項

◎集計分析は、単純集計を行なっています

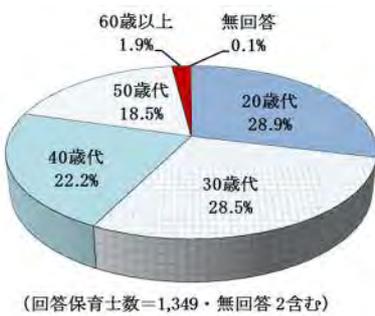
◎集計における構成比率(%)は、四捨五入により合計比が 100%にならない場合があります

# 保育士調査

## 問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

- ① 回答者の年代 (図 1-①)  
上位は「20 歳代」28.9%、「30 歳代」28.5%、「40 歳代」22.2%となっている。
- ② 回答者の性別 (図 1-②)  
「女」が 96.6%に対して、「男」が 3.2%と少ない。
- ③ 保育教諭取得方法 (図 1-③)  
上位は「短大」84%、「保育士試験」が 7%、「専門学校」6.3%となっている。

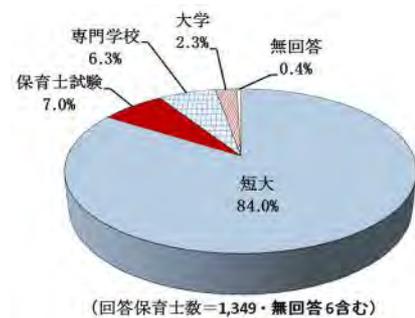
【 図 1-① 年代 】



【 図 1-② 性別 】



【 図 1-③ 保育教諭取得方法 】



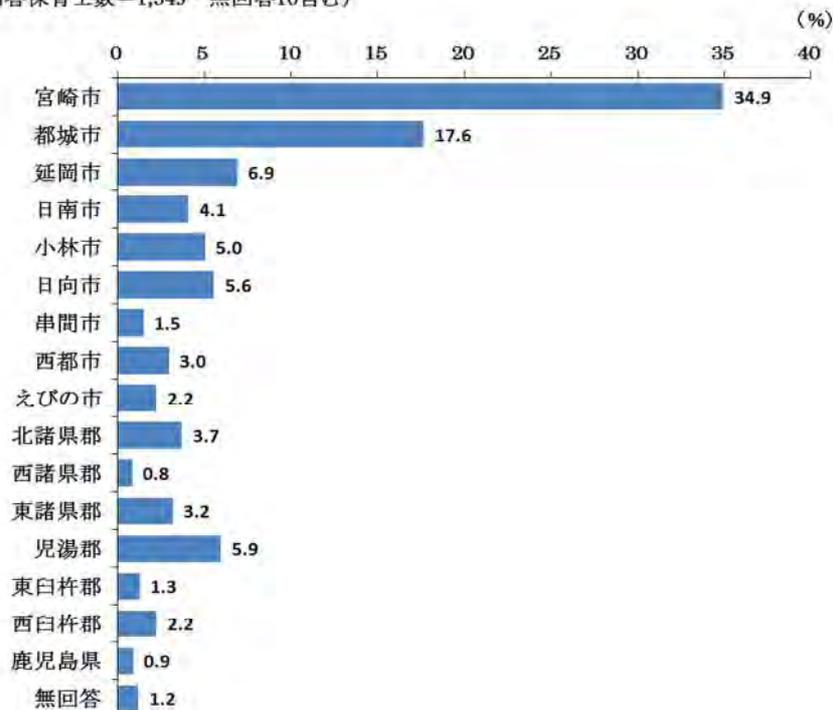
## ④ 現在の住所地

上位は「宮崎市」34.9%、「都城市」17.6%、「延岡市」6.9%となっている。

(図 1-④)

【 図 1-④ 現在の住所地 】

(回答保育士数=1,349・無回答16含む)



単位(人)	
宮崎市	471
都城市	238
延岡市	93
日南市	55
小林市	68
日向市	75
串間市	20
西都市	40
えびの市	30
北諸県郡	三股町 50
西諸県郡	高原町 11
東諸県郡	国富町 39
	綾町 4
児湯郡	高鍋町 17
	新富町 40
	木城町 6
	川南町 15
	都農町 2
東臼杵郡	門川町 17
西臼杵郡	高千穂町 24
	日之影町 5
	五ヶ瀬町 1
鹿児島県	曾於市 10
	湧水町 2
無回答	16
合計	1,349

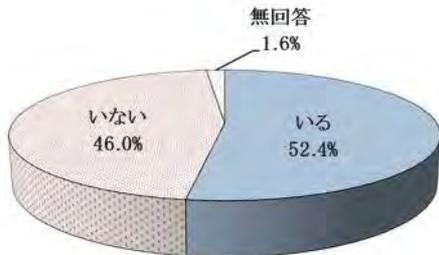
⑤ 配偶者の有無 (図 1-⑤)

配偶者が「いる」が 52.4%に対して、「いない」が 46%となっている。

⑥ 家計の主たる生計者 (図 1-⑥)

「あなた以外 (配偶者等)」が 55.2%に対して、「あなた自身」が 29.3%となっている。

【 図 1-⑤ 配偶者の有無 】



(回答保育士数=1,349・無回答22含む)

【 図 1-⑥ 家計の主たる生計者】

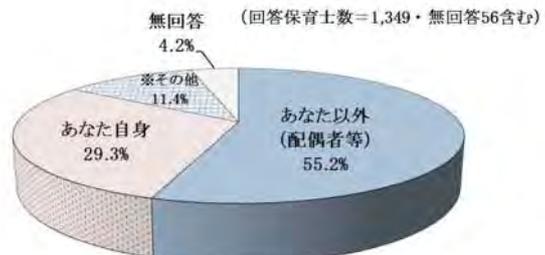


表1-⑥ ※その他 (11.4%)	
「あなた自身」及び「あなた以外(配偶者等)」	34人
親	1人
未記入	119人

問2 お子さんがいる場合はその人数と末子の年齢をご記入ください。

① 子どもの有無 (図 2-①)

子どもが「いる」が 52.6%に対して、「いない」が 41.9%となっている。

② 子どもの人数 (図 2-②)

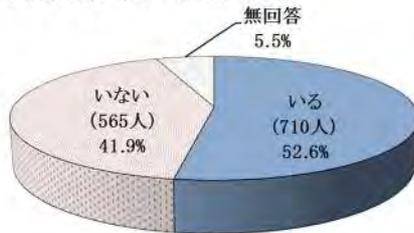
「2人」が 46.3%で最も多く、次いで「3人」が 27.2%、「1人」が 19.4%となっている。

③ 末子の年齢 (図 2-③)

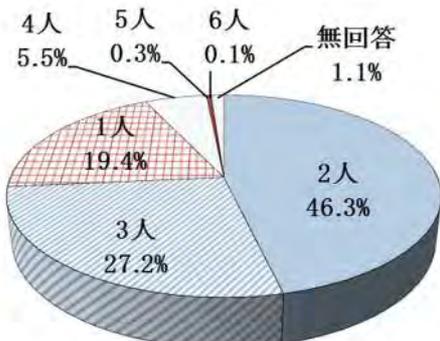
「6歳以下」が 26.6%で最も多く、次いで「20歳代」が 20%、「7~12歳」が 17.7%となっている。

【 図 2-① 子どもの有無 】

(回答保育士数=1,349・無回答74含む)

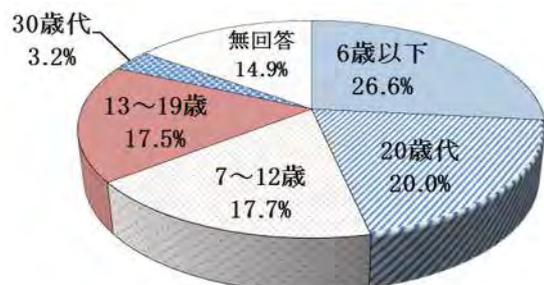


【 図 2-② 子どもの人数 】



(回答保育士数=710・無回答8含む)

【 図 2-③ 末子の年齢 】

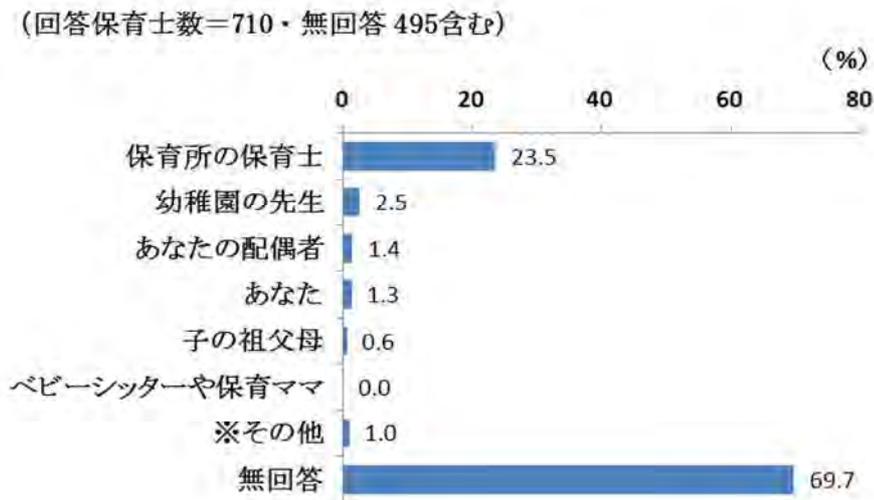


(回答保育士数=710・無回答106含む)

問2-1 小学校就学前のお子さんがいる方におうかがいします。  
 未子のお子さんの日中の主な保育者はどなたですか。(休日を除く。1つに〇)

「保育所の保育士」が23.5%で最も多く、次いで「幼稚園の先生」が2.5%、「あなたの配偶者」が1.4%、「あなた」が1.3%となっている。(図2-1)

【図2-1 就学前の子どもの日中の主な保育者】



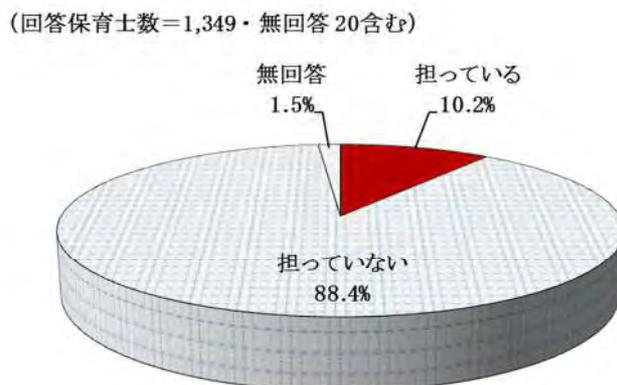
※「その他」1.0%(7件)には、1つ回答のところを複数回答したことによる“無効”(4件)を含む。

表2-1 ※その他 (1.0%)
幼保園の先生
小学校

問3 あなたは家族の介護を担っていますか。

「担っている」が10.2%に対し、「担っていない」が88.4%となっている。(図3)

【図3 家族介護の有無】



問4 あなたが保育士以外に取得している資格・免許は次のどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

「幼稚園教諭免許」が86.3%で最も多く、次いで「社会福祉士・介護福祉士」が7.6%、「ホームヘルパー」が5.9%となっている。(図4)

【図4 保育士以外に取得している資格・免許】

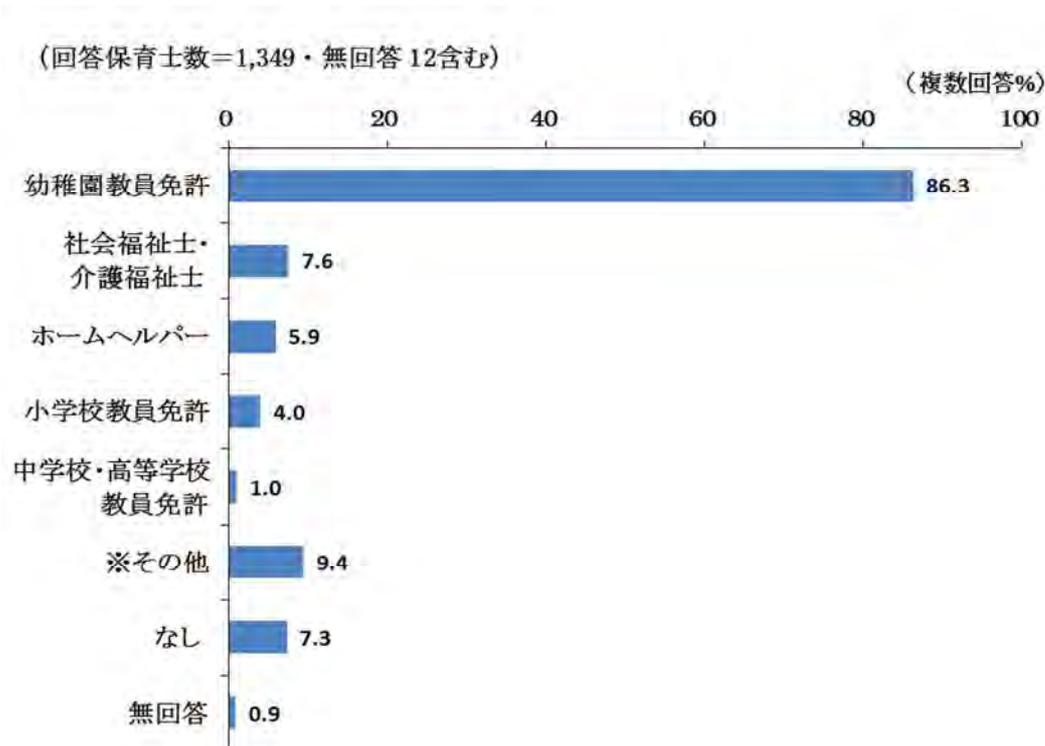


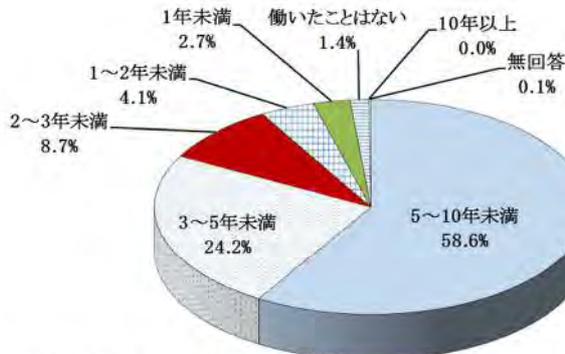
表4 ※その他 (9.4%)

認定ベビーシッター	食育アドバイザー
ベビーマッサージインストラクター、チャイルドマインダー	調理士免許
レクリエーションインストラクター、福祉レクワーカー	介護食士3級
日本3B体操協会指導者資格	介護ヘルパー2級、ガイドヘルパー
音楽療法士、音楽療法2種、日本音楽療法学会認定音楽療法士	簿記、日商簿記検定、日商簿記2級、商業簿記2級、社会福祉会計認定簿記
幼児音楽療育士、保育音楽療法士	そろばん1級、あんざん1級、珠算、電卓
モンテッソーリ教師0～3才・3～6才	税務会計、建設業経理事務
保育心理士	ワープロ、エクセル、情報処理、パソコン、P検3級
ピアヘルパー	書道、書道師範、一般漢字師範、漢検2級
児童厚生員、病児保育専門士等	カワイ・ピアノのグレード
幼稚園教員免許2種、幼稚園教諭第2種、幼稚園教員2級	臨床検査技師
養護学校教員免許、養護教諭二種免許、養護教諭	看護師、准看護師
特別支援学校教員免許	歯科技工士
司書、司書教諭	医療事務
社会福祉士、社会福祉主事、社会教育主事	秘書
知的障害者援助専門員、手話	英検、英検準2級
地域福祉コーディネーター、子育てアドバイザー	洋裁、パッチワークキルト講師・ミシンキルト講師、アパレル
サービス管理責任者	自動車、自動二輪車
危険物取扱、火気取扱い	

問5 あなたが保育士として働いている、通算就業年数はどれぐらいですか。(1つに○)

「5～10年未満」が58.6%で最も多く、次いで「3～5年未満」が24.2%、「2～3年未満」が8.7%となっている。(図5)

【図5 保育士勤務の通算就業年数】

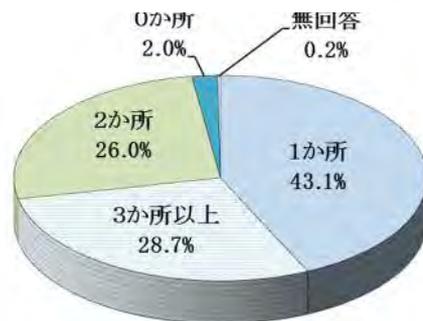


(回答保育士数=1,349・無回答2含む)

問6 あなたが、これまで保育士として勤務した認可保育所は何か所ですか。(1つに○)

「1か所」が43.1%で最も多く、次いで「3か所以上」が28.7%、「2か所」が26%となっている。(図6)

【図6 勤務した認可保育所数】

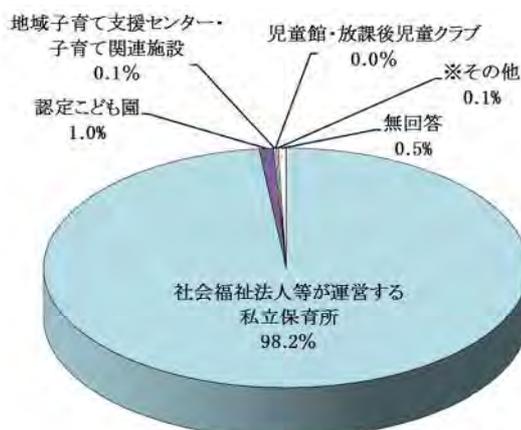


(回答保育士数=1,349・無回答3含む)

問7 現在の就業先はどちらですか。(主たる勤務場所について1つに○)

「社会福祉法人等が運営する私立保育所」が98.2%で最も多く、次いで「認定こども園」が1%、「地域子育て支援センター・子育て関連施設」が0.1%となっている。(図7)

【図7 就業先】



(回答保育士数=1,349・無回答7含む)

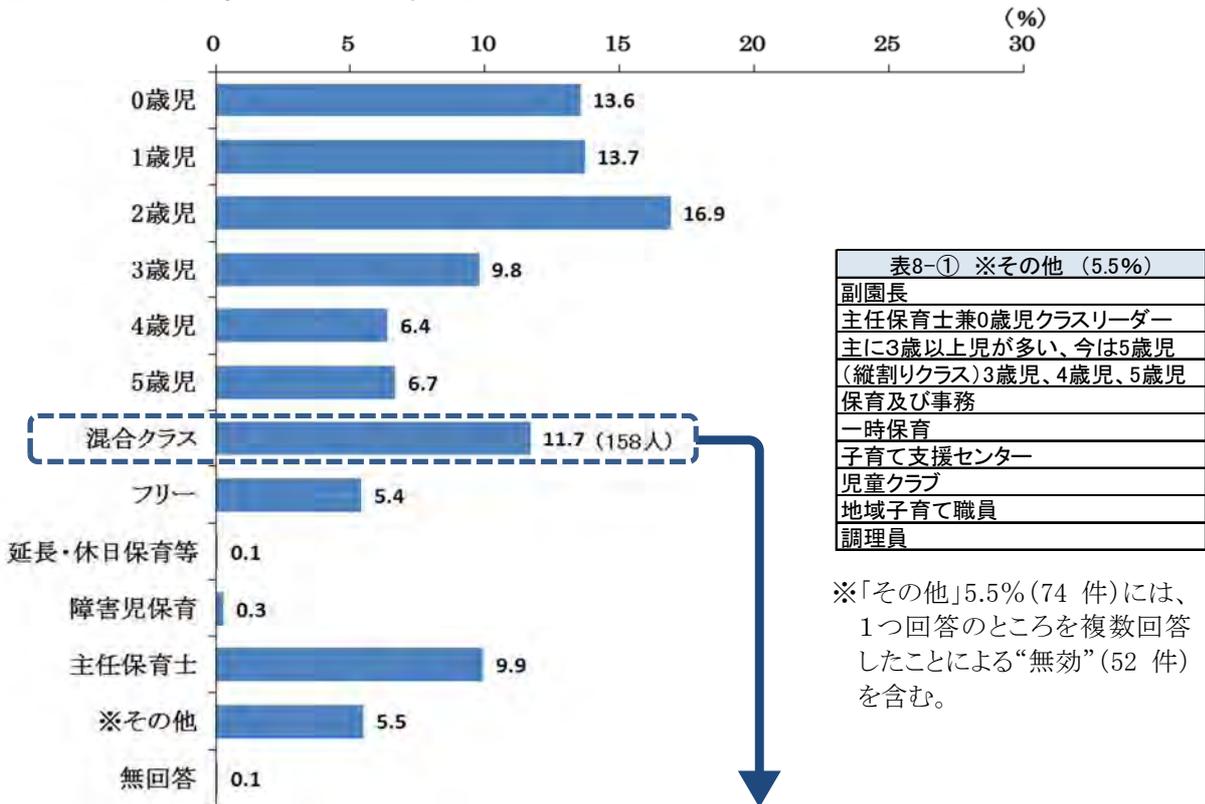
表7 ※その他 (0.1%)
公立保育所(指定管理)

問8 担当クラス等に○を付けてください。(主なもの1つに○)

「2歳児」が16.9%で最も多く、次いで「1歳児」が13.7%、「0歳児」が13.6%となっている。0～2歳児までが全体の44.2%を占める。(図8-①)  
 混合クラスの年齢は、「3～5歳」が32.3%で最も多く、次いで「4～5歳」が24.7%、「1～2歳」が16.5%となっている。(図8-②)

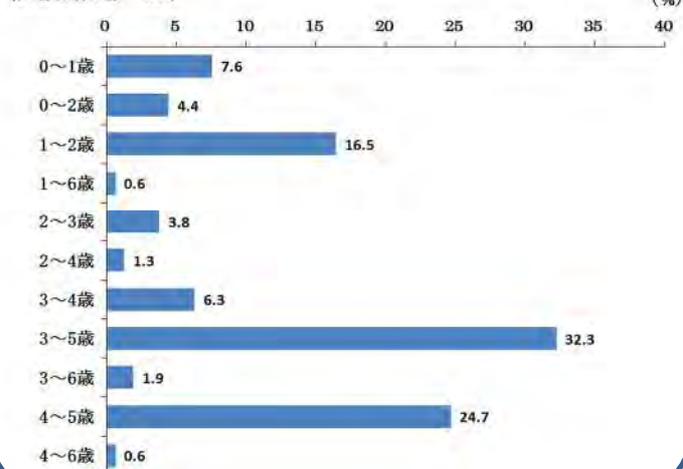
【図8-① 担当クラス等】

(回答保育士数=1,349・無回答1含む)



【図8-② 混合クラス(年齢)】

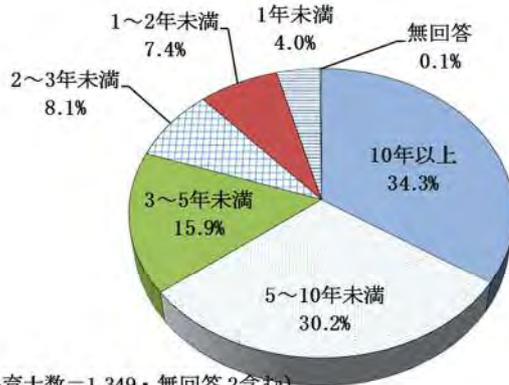
(回答保育士数=158)



問9 あなたは現在の職場で何年程度働いていますか。(1つに○)

「10年以上」が34.3%で最も多く、次いで「5～10年未満」が30.2%、「3～5年未満」が15.9%となっている。(図9)

【図9 現在の職場での就業年数】

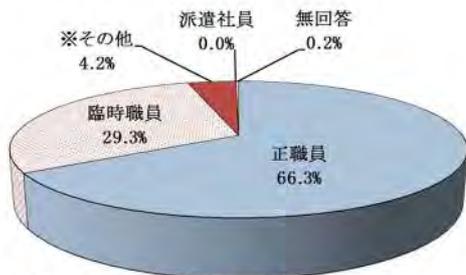


(回答保育士数=1,349・無回答2含む)

問10 現在の雇用形態についてお答えください。(1つに○)

「正職員」が66.3%で最も多く、次いで「臨時職員」が29.3%、「その他」が4.2%となっている。(図10)

【図10 現在の雇用形態】



(回答保育士数=1,349・無回答3含む)

表10 ※その他 (4.2%)
常勤
准職員・準職員・準正職
常勤嘱託
嘱託職員
常勤臨時
非常勤職員・非常勤保育士
パートタイマー
契約職員・委託職員・特別契約社員

問11 時間外勤務を含めた、1週あたりの平均的な労働時間は何時間ですか。(休憩時間を除く)

「週40時間～50時間未満」が63.5%で最も多く、次いで「週30時間～40時間未満」が17.6%、「週50時間～60時間未満」が10.7%となっている。(図11)

【図11 1週あたりの平均的な労働時間】



(回答保育士数=1,349・無回答31含む)

問12 あなたの勤務地と通勤時間について（1）現在の状況と、（2）今後の希望（通勤時間は許容できる上限）を、それぞれ該当する番号を下の選択肢の中から選んで枠内に○を付けてください。

### 1. 勤務地

**現在** 「自宅近く」が44.8%で最も多く、「居住市町村内」の40.5%を合わせると、居住市町村に勤務地がある割合は85.3%を占める。

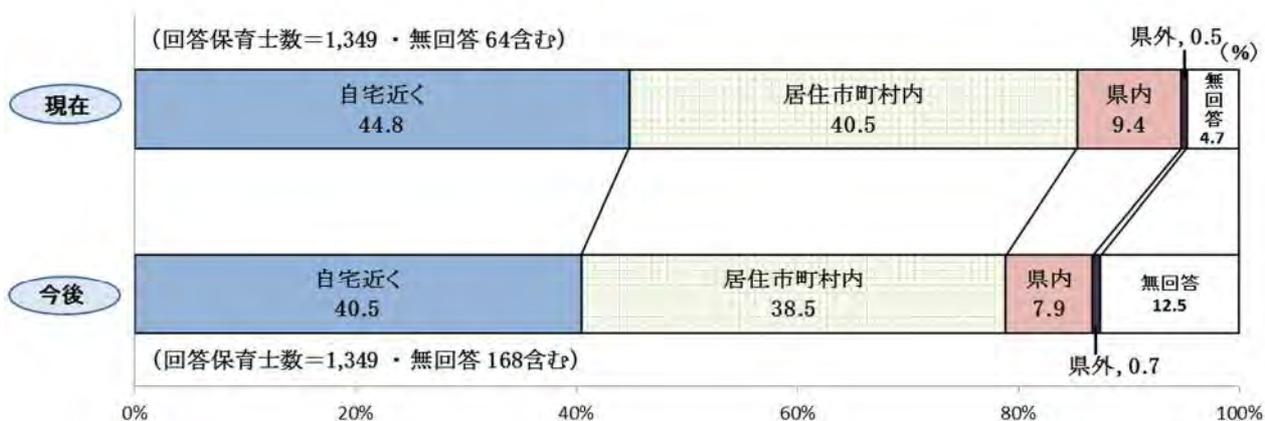
**今後** 「自宅近く」が40.5%で最も多く、「居住市町村内」の38.5%を合わせると、居住市町村での勤務希望は79%となっている。  
(図 12-1)

### 2. 通勤時間

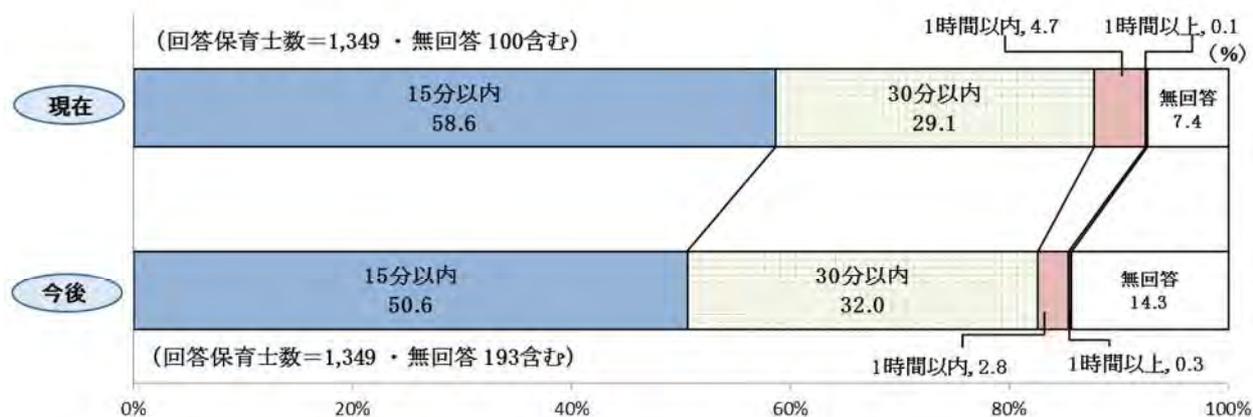
**現在** 「15分以内」が58.6%、「30分以内」が29.1%で、合わせると全体の87.7%を占める。

**今後** 「15分以内」が50.6%で最も多く、「30分以内」が32%で30分までの希望が全体の82.6%となっている。  
(図 12-2)

【図 12-1 勤務地】



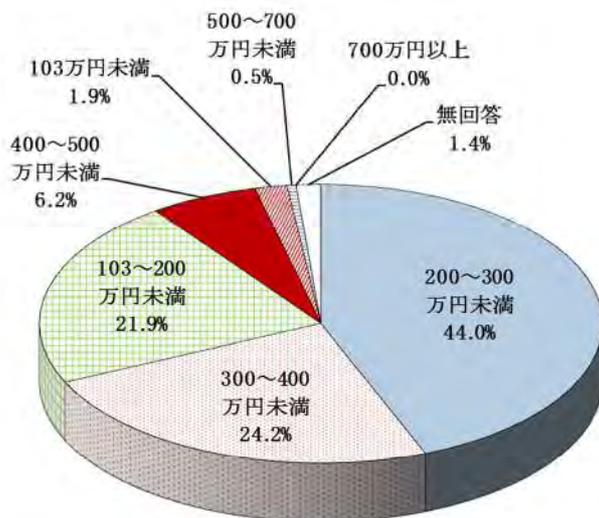
【図 12-2 通勤時間】



問13 現在の給与について年収ベースでお答えください。(総支給額)

「200～300万円未満」が44%で最も多く、次いで「300～400万円未満」が24.2%、「103～200万円未満」が21.9%となっている。(図13)

【図13 現在の年収】

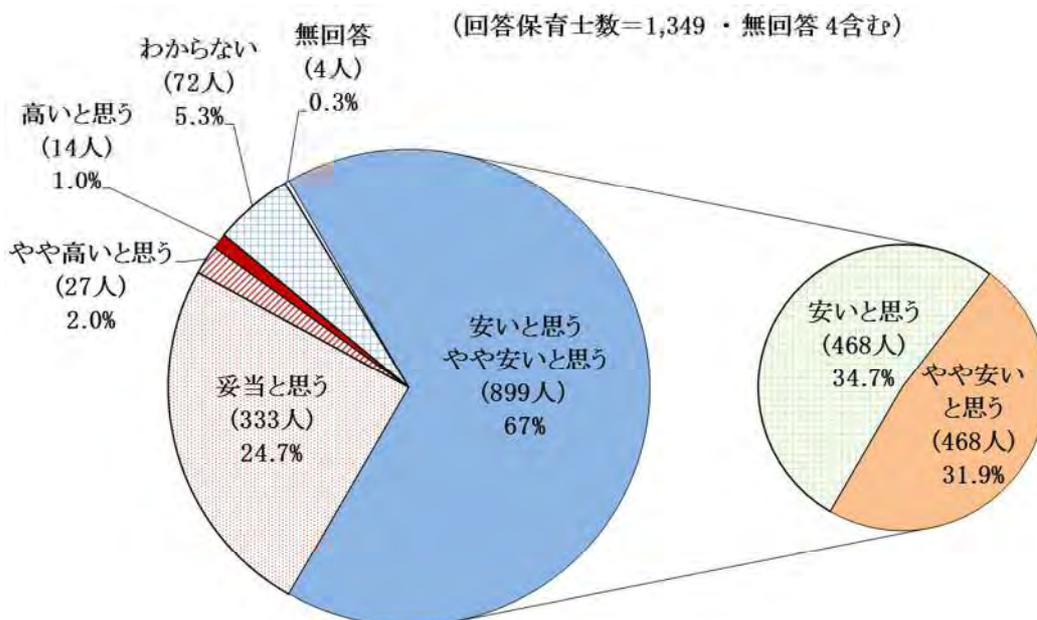


(回答保育士数=1,349・無回答19含む)

問13-1 現在の給与は勤務内容に比べ妥当だと感じていますか。(1つに○)

「安いと思う」が34.7%で最も多く、次いで「やや安いと思う」が31.9%、合わせると67% (899人)、「妥当と思う」が24.7% (333人) となっている。(図13-1)

【図13-1 現在の給与に対する評価】

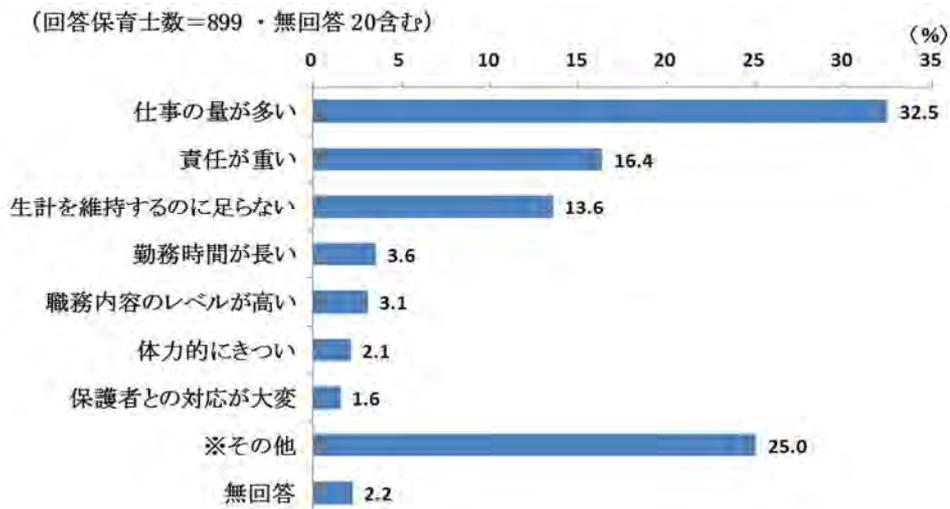


問13-1で「4 やや安いと思う」「5 安いと思う」と回答した方におうかがいします。  
 (それ以外の方は問14へお進みください。)

問 13-2 その主な理由は次のどれですか。(1つに○)

「仕事の量が多い」が32.5%で最も多く、次いで「責任が重い」が16.4%、  
 「生計を維持するのに足りない」が13.6%となっている。(図13-2)

【図13-2 給与が安いと思う主な理由】



※「その他」25% (225件)には、1つ回答のところを複数回答したことによる“無効”(185件)を含む。

表13-2 ※その他 (25%)

保育士の基本的な給与が低すぎると思う・職務内容がありすぎる割には、低いと思う
個人的な事に限らず、根本的な所の保育士の報酬が、上がってほしいと思うため
子どもの育ちで一番大切な時期、よりよい支援をするためにも保育士のスキルをUPし、それに見合った能力給にしていけば良いと思う
他園と比べて安い・同じ職種の友人から給与の金額を聞いて
自分より年数の下の者との差が少ない・他の園(公立など)の同年数者と比べると安いと思う
他の市町村と比べて、全国的にみて宮崎県での保育士給与が低いと思う
保育園内で仕事が終わらず、持って帰ってする仕事が多い・家に持ち帰らないと間に合わなかったり、出勤から帰宅まで休憩なしで仕事している
時間内に終わらず、残ってする事、休みの日に出てくること、持って帰る仕事が多い
保育士は、家に持ち帰ってからの仕事量が、次の日の保育の準備など、書類など、が多くなる
年々、色々な面で保育士の仕事は大変になってきていると感じるから、体力的にも精神的にも
仕事の内容や量、当番制などを考えると妥当ではない・求められる仕事内容の割には安い
仕事内容に合った賃金でない(持ち帰りも多い)これら全て当てはまる、私達は命をお預りしています
仕事以外の時間に、自宅での書類、作り物等が多い・10年以上働き臨時職員、正職が少ないが、休日出勤や早遅番勤務に入るのは臨時職員、書類等も臨時職員であるのは納得いかない
臨時職員なので、給与は妥当な額だと思っているが、仕事内容はきついと思っているので、○をつけました
正職員の仕事量があまり変わらないと思うから・正職と同じ内容の仕事
16年間臨時でクラスリーダーをまかされ、書類や勤務(早番、遅番など)をするのも、すべて臨時職員である
保育士の人数が少ない・子どもの人数が多い
18時半以降の延長保育が増えている
前歴が数年しか反映されていない・勤務年数に見合っていない
時間外手当がない・残業代がつく時とつかない時がある・ボランティアが多い・夜間手当、休日出勤手当がない
休日出勤が多い・休日など出勤しても(園の行事)、手当や代休がない・休みが少ない
ボーナスがない・出費が多い
毎年、年長組にさせられるのでたいへんである、他に上がる職員がいない
正職でないが、キャリアが長いことで、クラスを持たされるという責任が重い・・・!
発達障害のお子さんの対応が大変

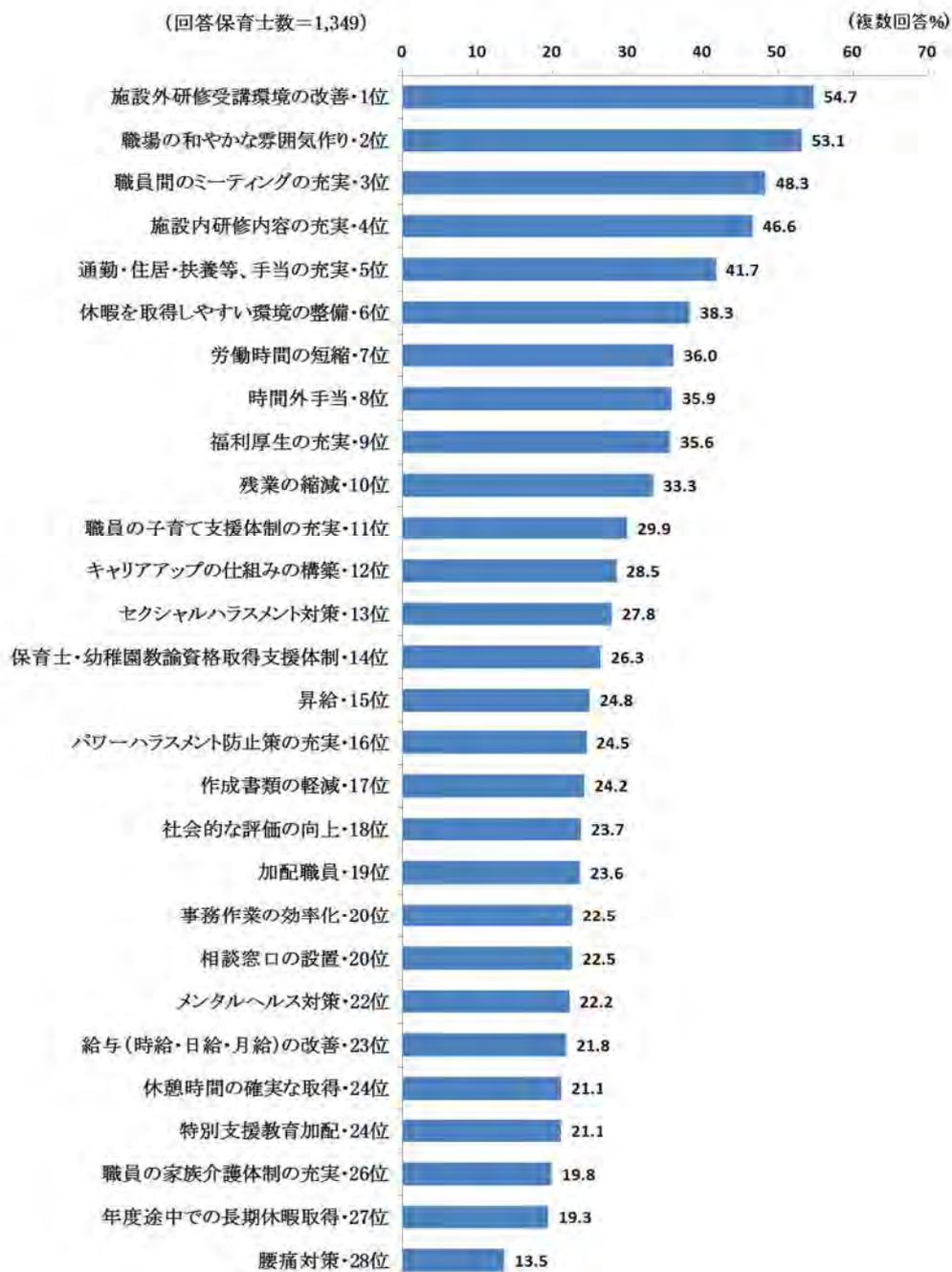
問 14 現在の労働条件や職場環境について満足していること、改善されるとよいことについて、○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 満足していること

- 1 位：施設外研修受講環境の改善 (54.7%)      4 位：施設内研修内容の充実 (46.6%)
- 2 位：職場の和やかな雰囲気作り (53.1%)      5 位：通勤・住居・扶養等、手当の充実 (41.7%)
- 3 位：職員間のミーティングの充実 (48.3%)      6 位：休暇を取得しやすい環境の整備 (38.3%)

(図 14-1)

【図 14-1 満足していること】

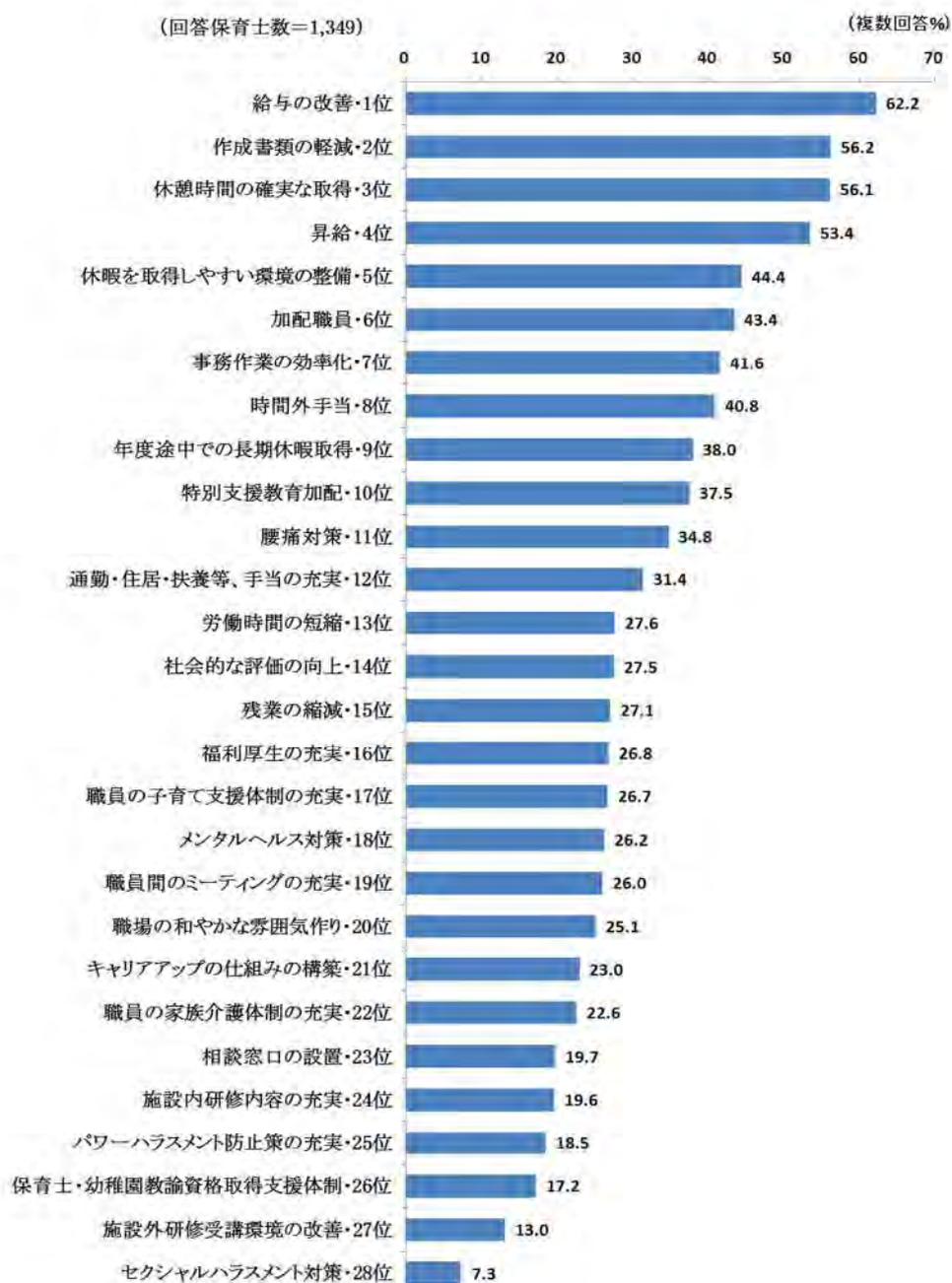


## 2. 改善されるとよいこと

- 1位：給与の改善（62.2%）
- 2位：作成書類の軽減（56.2%）
- 3位：休憩時間の確実な取得（56.1%）
- 4位：昇給（53.4%）
- 5位：休暇を取得しやすい環境の整備（44.4%）
- 6位：加配職員（43.4%）

（図 14-2）

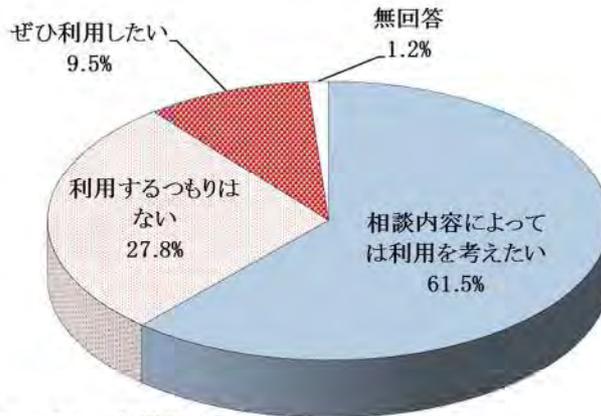
【図 14-2 改善されるとよいこと】



問 15 あなたは、仕事に関する悩み・困ったことなどについて、外部で相談できる機関があれば利用したいと思いますか。(1つに○)

「相談内容によっては利用を考えたい」が61.5%で最も多い。「ぜひ利用したい」は9.5%で、利用意向がある人は、合わせると71%を占めている。これに対し、「利用するつもりはない」が27.8%となっている。(図15)

【図15 外部の相談機関の利用意向】

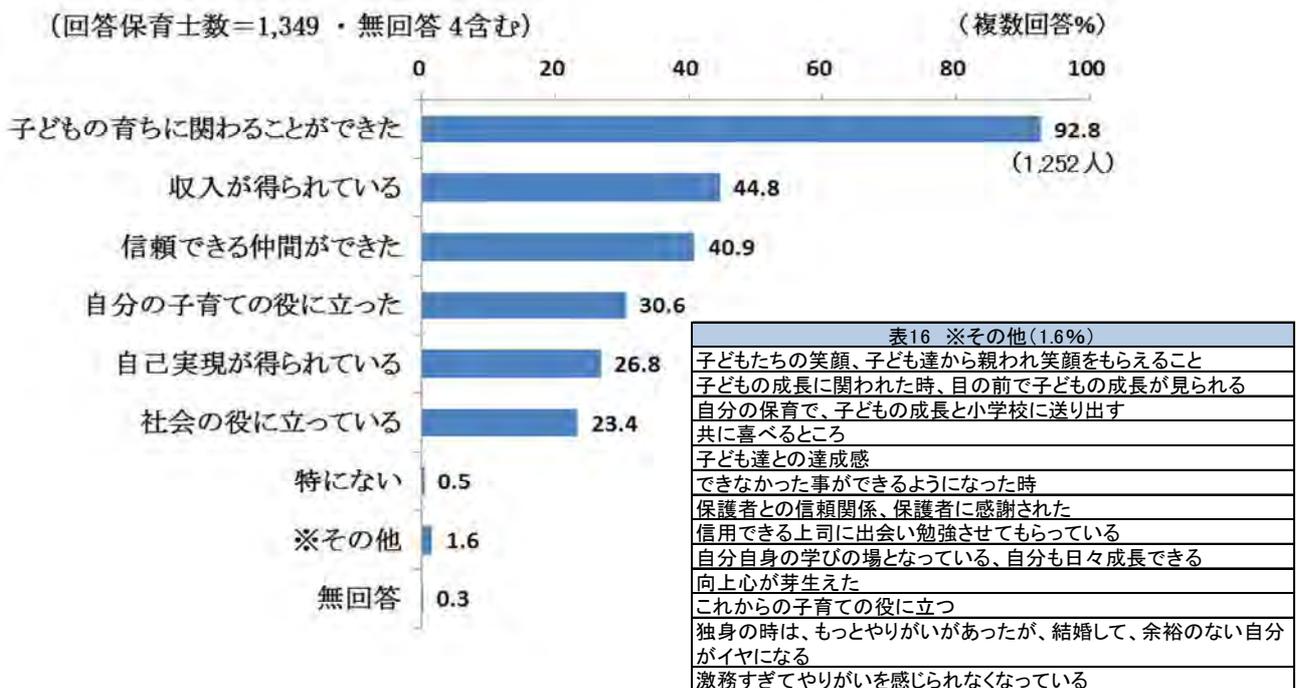


(回答保育士数=1,349・無回答16含む)

問 16 あなたが保育士として働いてこられた中で、やりがいに感じることは何ですか。

「子どもの育ちに関わることができた」が92.8% (1,252人) で最も多く、次いで「収入が得られている」が44.8%、「信頼できる仲間ができた」が40.9%となっている。(図16)

【図16 保育士勤務でやりがいを感ずること】



問 17 あなたは、現在保育の現場で対応が難しいと感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

「保護者への対応」が74.9%で最も多く、次いで「支援の必要な子どもへの対応」が61.7%、「障がい児保育」が36%となっている。(図17)

【図17 現在保育の現場で対応が難しいと感じていること】



表17 ※その他(3.6%)

子どもの対応、子どものまとめ方
親が保育園まかせになっている・保護者が我が子に対しての子育て(ネグレクト、親中心の生活)が希薄で、愛情不足の子が多いので、その対応、支援
地域交流
食の細かい子ども、好き嫌いの多い子どもへの対応・食への関心を育てる
保護者の食や育児に対する考え方への対応
支援が必要かもしれないと思う子の保護者にどう伝えたらよいかわからない、現場職員としては、専門の先生、担任・主任・園長などがついて伝えたらどうかと思っている
グレーゾーンの子どもの対応、また、その保護者への対応
活発すぎる子や、他児をまき込み勝手な行動をする子の対応
髪、しらみ(保護者が対応しない)
防災対策(訓練対策を十分に行う事)
職員の間関係、職員間の対応、職員間のコミュニケーション、職員間の連携、職員間同士の信頼関係
保育士への対応、保育士間のバランス、保育士間のコミュニケーション、保育士の確保、配置
若い後輩への指導、後輩への指導・支援、新任指導、職員指導と育成、職場環境の改善
若い職員とその親(親が子どもの仕事の事に口出しをしてくる)
専門的知識がまだまだ足りないと思う
職員の雇用形態がちがうため全職員での理念浸透の実現、保育観の違う職員との意思の疎通
個々の成長に繋がる関わりや保育の仕方、保育士の質の向上、保育内容の向上
質の向上(職員内での意識改善が必要) 工作中、私語が多い、責任転換、生活マナー等、目にあまるものがある
障害児保育(園長が受け入れない)、その他(園長先生のイメージを園長が押しつけすぎでわがまま)
難しい対応は、皆で話し合ったりするので、今のところありません

問 18 保育士になってから、これまでに受けた支援・活用した制度等を、それぞれの時期①～④について、主なものを3つまでを以下の1～14の中から選んで記入してください。また、受けたかったが受けられなかった支援・制度等についても、それぞれの時期①～④について、以下の1～14の中から3つまで選んで記入してください。

\* ①～④の状況がなかった場合は空欄としてください。

① 第1子の妊娠・出産・育児の際 (図 18-①-1)

状況があった人(「受けた支援・活用した制度等」あるいは「受けられなかった支援・制度等」に記入している人)は、40.7%(549人)となっている。

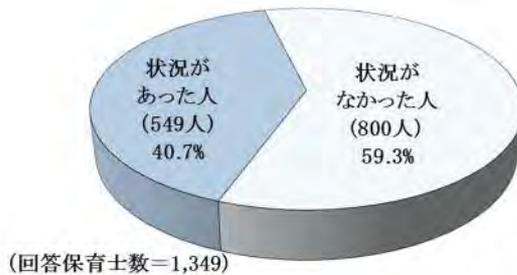
■受けた支援・制度 (図 18-①-2)

上位から「両親等、家族による育児の支援」44.3%、「育児休業」38.3%、「認可保育所」29.7%となっている。

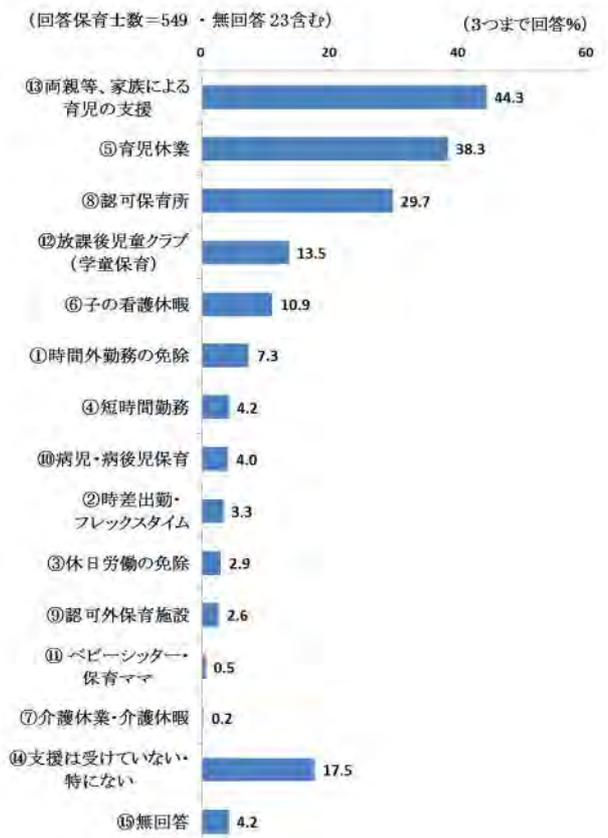
■受けられなかった支援・制度 (図 18-①-3)

上位から「育児休業」14.8%、「短時間勤務」12%、「子の看護休暇」11.5%となっている。

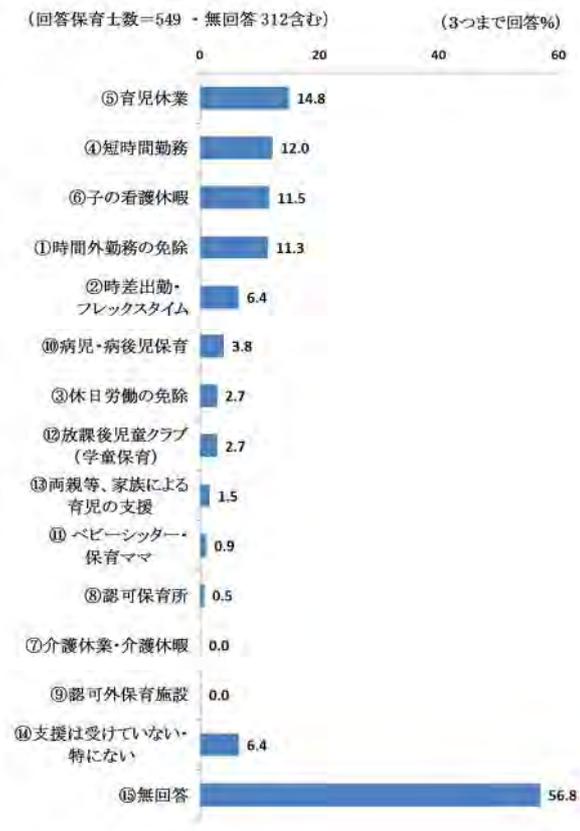
【図 18-①-1 第1子の妊娠・出産・育児】



【図 18-①-2 受けた支援・制度】



【図 18-①-3 受けられなかった支援・制度】



② 第2子以降の妊娠・出産・育児の際 (図 18-②-1)

状況があった人(「受けた支援・活用した制度等」あるいは「受けられなかった支援・制度等」に記入している人)は、34%(458人)となっている。

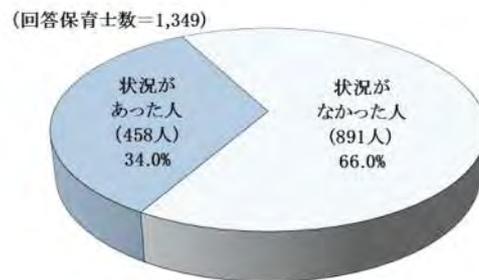
■ 受けた支援・制度 (図 18-②-2)

上位から「両親等、家族による育児の支援」41.3%、「認可保育所」37.1%、「育児休業」34.7%となっている。

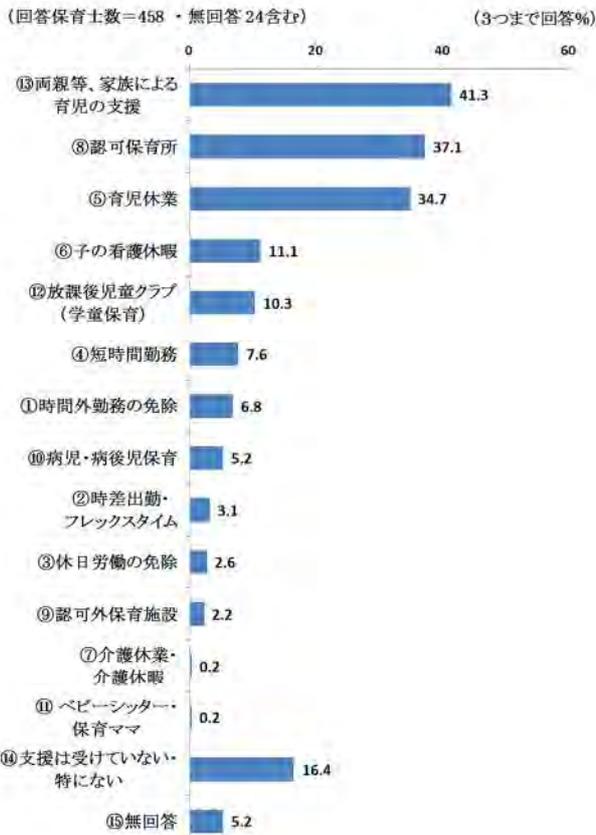
■ 受けられなかった支援・制度 (図 18-②-3)

上位から「育児休業」13.3%、「子の看護休暇」11.8%、「短時間勤務」10%、となっている。

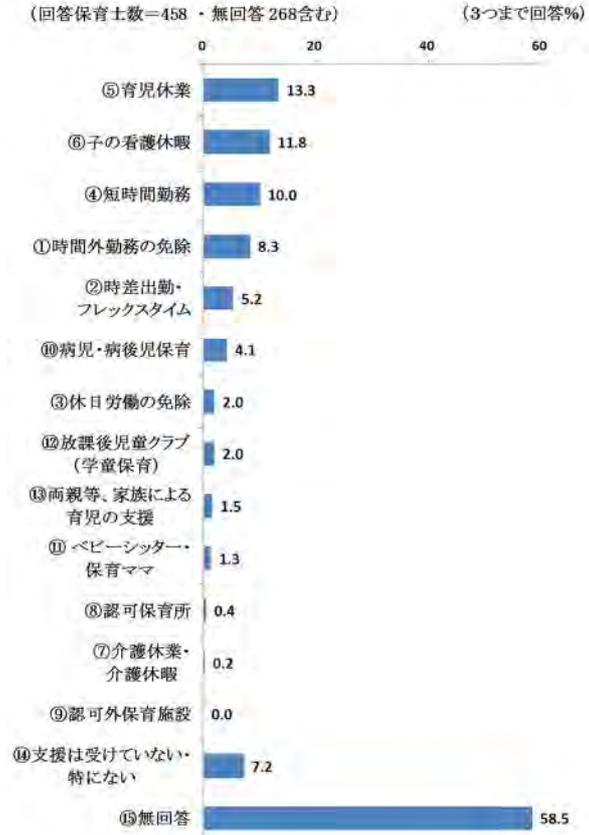
【図 18-②-1 第2子以降の妊娠・出産・育児】



【図 18-②-2 受けた支援・制度】



【図 18-②-3 受けられなかった支援・制度】



③ 家族の介護の際 (図 18-③-1)

状況があった人(「受けた支援・活用した制度等」あるいは「受けられなかった支援・制度等」に記入している人)は、13.2%(178人)となっている。

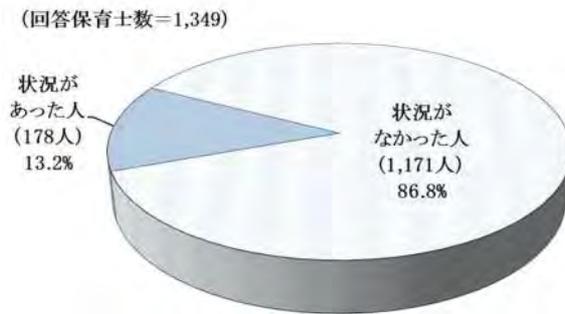
■ 受けた支援・制度 (図 18-③-2)

上位から「支援は受けていない・特にない」56.2%、「介護休業・介護休暇」8.4%、「短時間勤務」4.5%となっている。

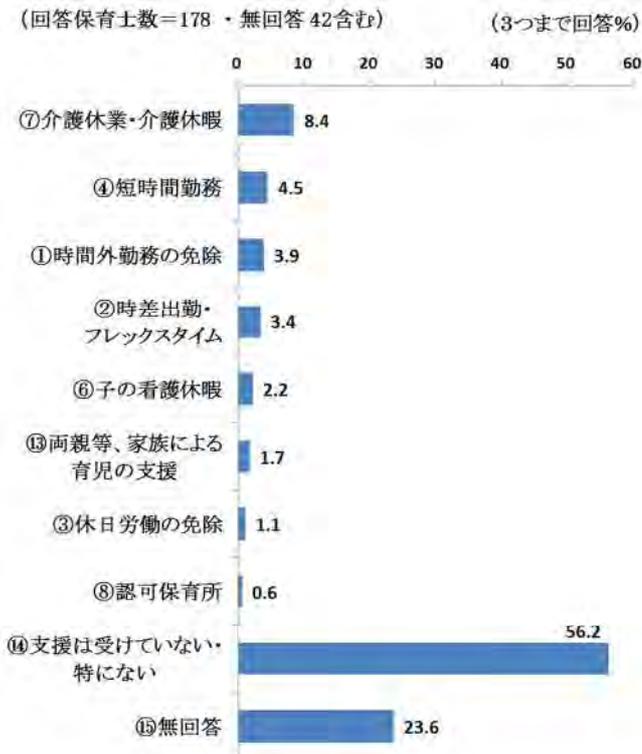
■ 受けられなかった支援・制度 (図 18-③-3)

上位から「介護休業・介護休暇」20.8%、「支援は受けていない・特にない」19.7%、「短時間勤務」が5.1%となっている。

【図 18-③-1 家族の介護】



【図 18-③-2 受けた支援・制度】



【図 18-③-3 受けられなかった支援・制度】



④ **その他** (図 18-④、表 18-④)

状況があった人(「受けた支援・活用した制度等」あるいは「受けられなかった支援・制度等」に記入している人)は、1.5%(20人)となっている。

■ **受けた支援・制度**

上位から「休日労働の免除」及び「両親等、家族による育児の支援」が25%、「放課後児童クラブ(学童保育)」20%となっている。

■ **受けられなかった支援・制度**

上位から「育児休業」15%、「時差出勤・フレックスタイム」10%となっている。

【図 18-④ その他】

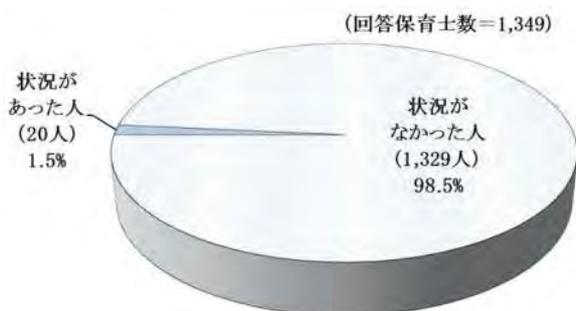


表18-④ その他	
育児の時期	第2子第3子
孫の子育て支援	
参観等、学校行事	
フルタイムで勤務するにあたり	
病気の際、家族の看病、自分の手術・入院	
これから家族の介護をしていくので受けたい支援制度	
これから子どもを産むに当たって	

問19 上記項目以外で受けたかった支援、あれば良かったと思われる支援があれば、その時期と具体的内容を下記にお書きください。

「妊娠・産前産後」についてが36.7%で最も多く、次いで「保育園・小学校の時期」が16.7%、「家族・本人の病気、介護」が15%となっている。(図 19、表 19)

【図 19 受けたかった支援、あれば良かったと思われる支援の時期と具体的内容】

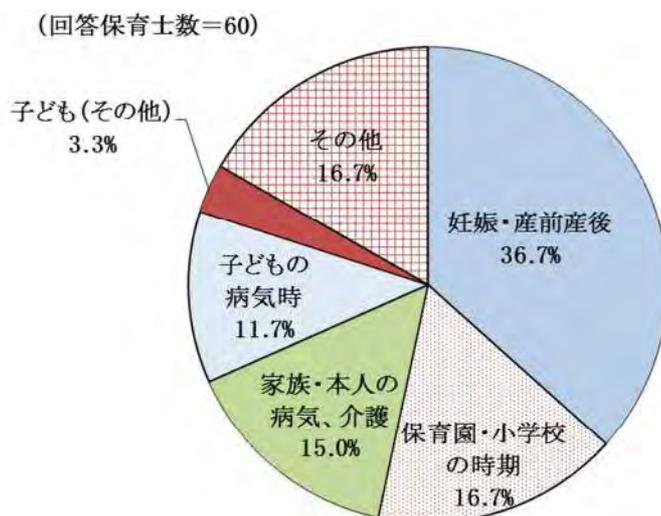


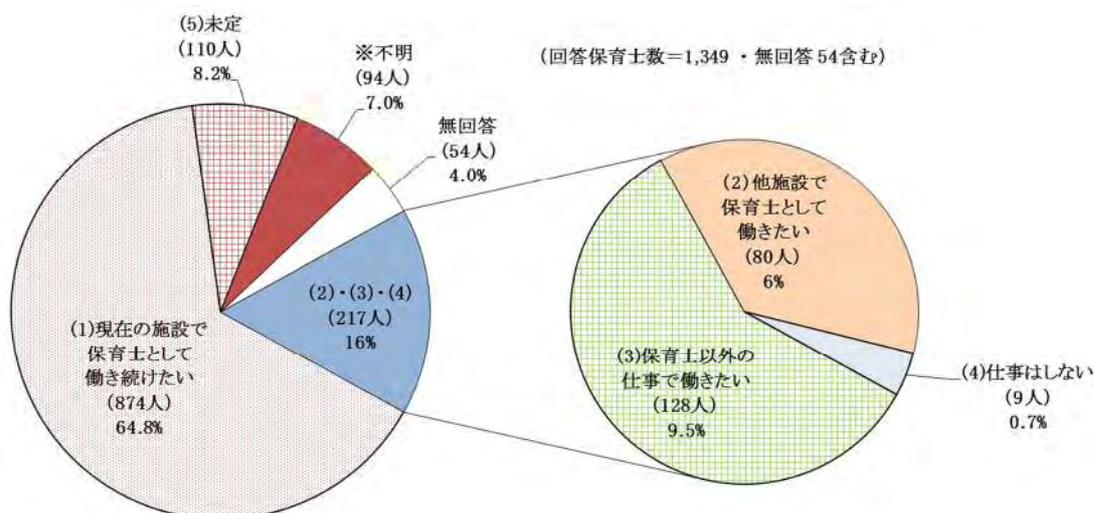
表19		
時期	具体的内容	
妊娠・産前産後	妊娠中つわりの時期	つわりの時期の有給休暇が欲しい(気分悪く仕事が出来なかったため)
	妊娠中	貧血もひどかったので、休みたかった
	妊娠中	検診等に行く時に、休みでなく、短時間でも良いので抜けられるような支援がほしい
	妊娠初期	休日の行事に出勤したり、重労働、配慮が欲しかった
	妊娠初期	つわりがつかなく、出欠なども度々あったので、休みがもらいたかった
	産前	保育士は体を使って動くことも多い仕事なので、産前の休みをもっと早くに取れると、体にも周りの人も負担が減るのではと思う
	第1子出産時	育児休業を事前にとらななかったが、早産で、予定外のことが多く、あとから申請ができなかったため大変であった。あとからでも申請できればいい
	平成元年頃、長女出産時	子育て支援センターが町内になかったので、あったら利用したかった
	出産後	育児休業の延長(3年程度)
	出産にあたり	育休や子どもの介護がなく、退職という形式になった
	出産～今でも	女性でも家族の扶養手当を出してほしい
	産後6ヶ月は、育休がとりたかった。	産後8週と聞いていたので何も調べずに、パタパタと復帰した。周りに迷惑をかけられないとも感じた
	これから出産するが、保育園でいままで誰も取っておらず、取りにくい	育児休業
	28年前	双児を出産したのですが、その頃は、子育て支援も一時保育もなかったので、もしあったら、第3子も出産していたと思います
	復帰直後 子育て時期	シフト制の為、勤務時間帯の希望
	秋・冬以降	仕事復帰の為、保育園に預けたいが、待機児童が多く入所できなかった
	育児休業後、職場復帰してから	当番(早番・遅番)の免除
	育児休業(平成3年～平成6年頃)	産休しか取れなかったため、育児休業があればよかったですと思いました(あっても取れなかったため)
		育児休業をとりたいかったのにとらせてもらえなかったこと
		育児休暇
	育児期	保育士ぎりぎりではなく休みを取りやすい環境であってほしい。代理の保育士がいれば・・・と思う
	子供の育児の際	勤務時間を短くして頂いたり、休日出勤しなくてもその分の収入などあれば良かった
	保育園・小学校の時期	子育て中
子育て時期		子育て期間中だけ(子どもが低学年くらいまで)パートになり、その後、再び正職員に戻れるような制度があると良いと思います
保育園に我が子を入所させていた時		クラス担任をしていたことを理由に休みをもらえなかった
認可保育所に入所して、仕事を始めた頃		迎えに行けず、周りに頼れる人もいなく、迎えをお願いできる支援がほしかった
保育園～小学校期		行事等に中々休みが取れなかった為、休みを取り働きやすい環境があると良かった
平成19年頃		小学校や家の近くに、学童保育が無かった。教育委員会に相談したが、ダメだった。しかたなく引越した
小学校入学から1ヶ月間位		入学してしばらく、早く終わったり、学童利用をしても5時までだった為、1ヶ月その時間休みをとれる制度があると良い
小学校就学前		短時間勤務制度があるが、現状ではとりにくく、正職、臨時ともローテーション勤務、1週間しか制度利用できなかった
小学3年生		この時期まで児童クラブに入れるが、人数が多く利用することができなかった
H26.4.1～今現在		フルタイムで働いているが児童クラブに入れない
子ども、その他	子供の受験生の時	半年～1年間の休暇があったらうれしい
	10年位前	子どもの就職で県外に行く事になり、一緒に3/31について行き、4/1には帰って来なくてはいけなかった。たった1泊では、部屋の片付け、準備が何も出来ない。子どもは高校を卒業したばかり・・・もう少し準備等してあげたかった
子どもの病気時	子どもの乳児期	子どもが病気の時に職場に気にせず休みがとりたかった
	自分の子供が病気の時(感染症)	はやる病気の時は、職員の子供も同じ時期に病気にかかり、休みたいが休めない。職場は限られた人数なのでしかたないが・・・
	子どもの病気	働く母親がそのような時にしっかり休みをとれる社会になってほしい
	子どもが病気の時、預かってくれる所があると安心	病気がひどい時には休ませてくれるが、急に熱などが出た時などは休ませてくれないので
	子どもが入院時	年休処理をするのではなく、看護休暇があれば良いと思った
	子どもが小さい時	ちょっと朝、病院へ行くなどの時間休がとりやすい環境
病気のとき	気がねなくお迎えにいきたかった	

	時期	具体的内容
家族・本人の病気、介護	夫が精神疾患になった時期 (特に見守りが必要だった1ヶ月)	その時期に通院などに同行することが多く、休暇が欲しかったが、正職員の為取りづらく、仕事との両立が大変だったので、休暇があればよいと思った
	平成3年	母の病気のため
	親が入院した際	病気が安定するまで、休暇があれば良いと思った
	高齢の父母が急病で入院、検査が入った時	2~3日休みがつづけて取れたらと思う事はあった
	県外にいる実家の親が入院等病気になった時	親の介護休暇
	介護中、肺炎始め、様々な病気で3ヶ月位入院を必要とする時	年休処理対応で消化できる範囲で対処したが、1~2ヶ月十分に安心して介護できるよう、給与の何%かを保障してもらえて休暇がとれるといいと思う
	介護している時H13~H15	介護
	家族の介護	障害のある家族の介護が必要だったが、なかなか休みがとれなかった
	子宮筋腫で手術を受けたが	
その他	退職時期	退職が自らでもなくても年休消化できず、お金にもかえられない事
	結婚	結婚退職して臨時職員となった。そのまま結婚しても正規で勤務したかった
	年間	有休が取れない、取りづらい
	好きな時に	リフレッシュ休暇
	現在	なかなか子どもができなくて、治療したいけど長期有給休暇があって満額給与がでればすぐ助かります
	盆など、週休の休日を増やしてほしい	休みが少ない 有給がとれない
		間18の支援もうけられていないので、最低限の支援は受けたかった
	臨時職時代	臨時職への待遇を改善して欲しかった 専業主婦だったので必要と思わなかった

問 20 今後の就業意向について、あなたの考えにもっとも近いもの1つに○をつけてください。

「現在の施設で保育士として働きたい(874人)」が64.8%で最も多く、次いで「保育士以外の仕事で働きたい(128人)」が9.5%、「他施設で保育士として働きたい(80人)」が5.9%となっている。(図20)

【図20 今後の就職意向】



※不明とは、問20に回答せずに、問21あるいは問22に回答した人を示す。

問 20 で「1 現在の施設で保育士として働きたい」と回答した方におうかがいします。

問 21 現在の施設で保育士として働きたい理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

「通勤が便利」が 64.6% (565 人) で最も多く、次いで「職場の人間関係がよい」が 63.6%(556 人)、「休暇が取りやすい」が 33.2%となっている。(図 21)

【図 21 現在の施設で保育士として働きたい理由】

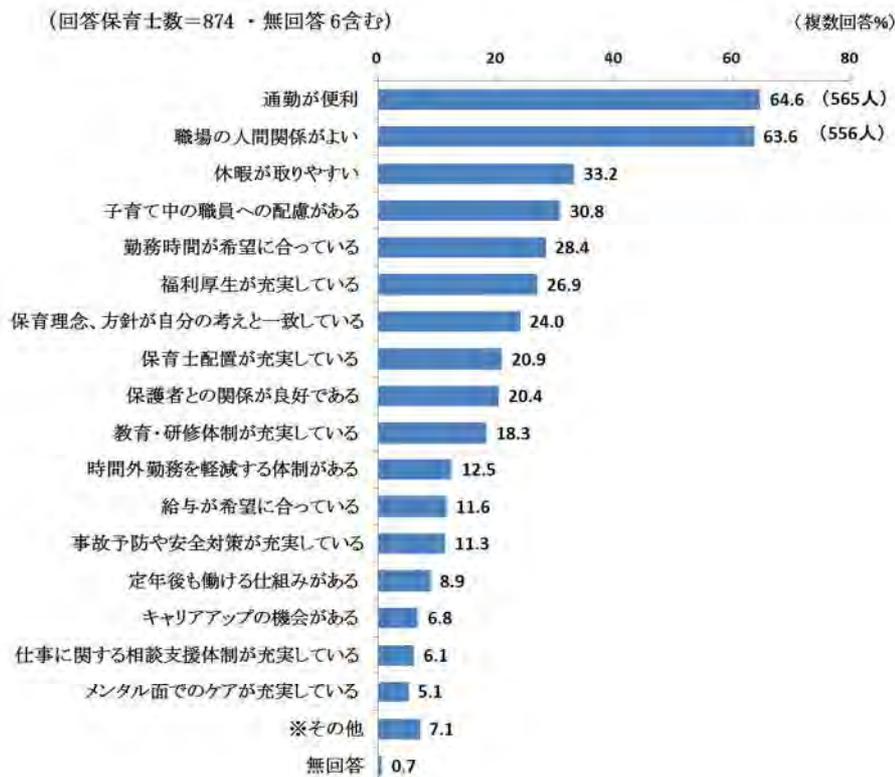


表21 ※その他(7.1%)

保育士としての夢を叶えてくれたから
現在保育中の子ども達の成長を見守っていきたい
目標達成に至っておらず、もっと学び、実践し、目標を達成したい・保育技術を身につけたい ・研修に参加し、学ぶことができる・より深く親支援、子ども支援に関わるスキルをみがきたい
やりがいをもって仕事をしている・自分の能力を認めて頂けていると感じられるから
正規職員としての立場で働けるので働かない・正職員として働ける場所はないから・正規で働く所を別に探すと大変なので、採用は臨時が多いので
家庭の事情で現在の職場になり年齢的にも他では正規で勤務することは無理だと思う為・臨時→正職になったから ・次を探すが大変だから・せっかく正職員なので、辞めるとまた他で働く時、なかなか正職員になれない
正職員のため やりがいを感じている
定年まで働けるから
自分に合っている・仕事が楽しい
経営者への信頼・園長がしっかりとはっきりしていて信頼できる・保育士を育てようとする意志がある・園長先生方が優しい
同僚との人間関係が良い・働きやすい雰囲気・通勤時間は長い、親、職員にも慣れた為・自分の慣れた 環境の中で安定した保育を続けていきたいから
他の所で働く自信がない・他で働きたい気持ちがないから・他施設で一から人間関係をつくっていきける自信がないから ・働き慣れている環境なので、今から他の職場は考えられない
他に安定した仕事がない・仕事内容になれているため・保育士以外の仕事を経験したことがない ・今まで働いてきたので・・・という理由もあります・慣れてきた職場だから、給与が一年目に戻るのには苦しいから
年齢的に転職はできない・年齢的に他に受け入れてもらえないと感じているから・年齢的な事もあり、他へ移っても・・・と 思う・今さら次の所をさがせない・この年齢になって、他園では働けない・辞めて、他の職場に行く勇気がない ・今の職場をやめたら、次に働く場所が見つからないと思うので
働かないと生活が苦しい・子育てにまたお金がかかるため(大学)
両親の経営している園だから・親戚が経営している保育園の為・自園の為

問 20 で「2 他施設で保育士として働きたい」「3 保育士以外の仕事で働きたい」「4 仕事はしない」と回答した方におうかがいします。

問 22 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「休暇が取れない・取りづらいため」と「給与に不満があるため」がともに 50.2%(109 人)で最も多く、次いで「身体的な負担が大きいため」が 48.4%(105 人)、「責任の重さ・事故への不安があるため」が 47.9%(104 人)となっている。(図 22)

【図 22 現在の施設で働きたくない理由】



表22 ※その他(13.4%)

本当の命と向き合いたい・やりたい保育と少し違う
色々な面のスキルアップもしてみたい・もっと自分の資質を高めたい
資格を生かすため(更新制)
・自分の人生を見直す機会があった為 ・もう一つの夢を叶えるため
日曜、祝日の出勤が多いため
持ち帰る仕事が多い為(プライベートの時間がとれない)・書類関係が多いため
子供と接する時間が少ないため・子どもが病気の時など休みがとりにくい
身内を働かせているが全く仕事をしていないのに高い給与を出し、自分の思うように品物を買っている 全く子ども達の遊具などに金銭が使われていない
自分の雰囲気と今現在の施設の雰囲気があうのかな?と不安に思う事がある 園内の職員の中でも自分はとけこめているのか・・・と思う また、物事を尋ねても知らない、見てなかった等責任を逃れようとする方も多く見られ、どう対応していくべきなのか考えさせられる
すべて保育園に任せすぎる制度、子どものためになっていないものが多い
子ども数に対し保育士が少ない、保育士へ色々求めすぎ!! 責任・負担が大きい
仕事が楽しくないと感じる時がある
家計が苦しく、副業をしたいため
実家に戻る為

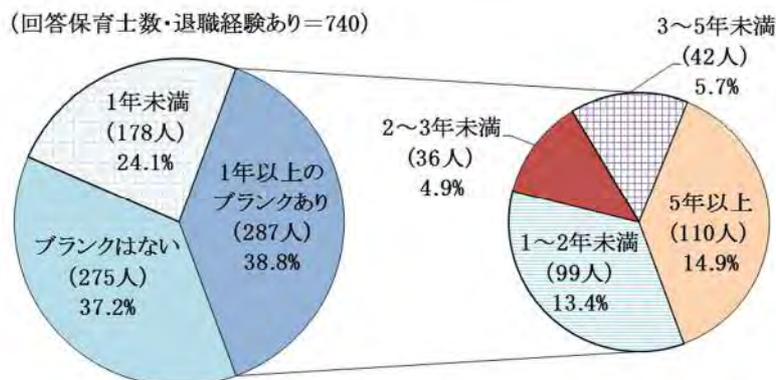
問 23～31 までは、現在も保育士として働いている方のうち、これまでに勤務先（保育に関する仕事に限る）を退職した経験がある方におうかがいします。  
 ※ 保育士として勤務先を退職した経験がない方は、問 32 へお進みください。

問 23 直近の退職から現在の勤務先に就業するまでの期間についてお答えください。  
 (1つに○)

「ブランクはない」が 37.2%で最も多く、次いで「1年未満」が 24.1%、「1～2年未満」が 13.4%となっている。(図 23)

※回答者（退職経験あり）740 人のうち、1年以上ブランクのある人は、38.8%（287人）となっている。

【図 23 直近の退職から現在の勤務先に就業するまでの期間】

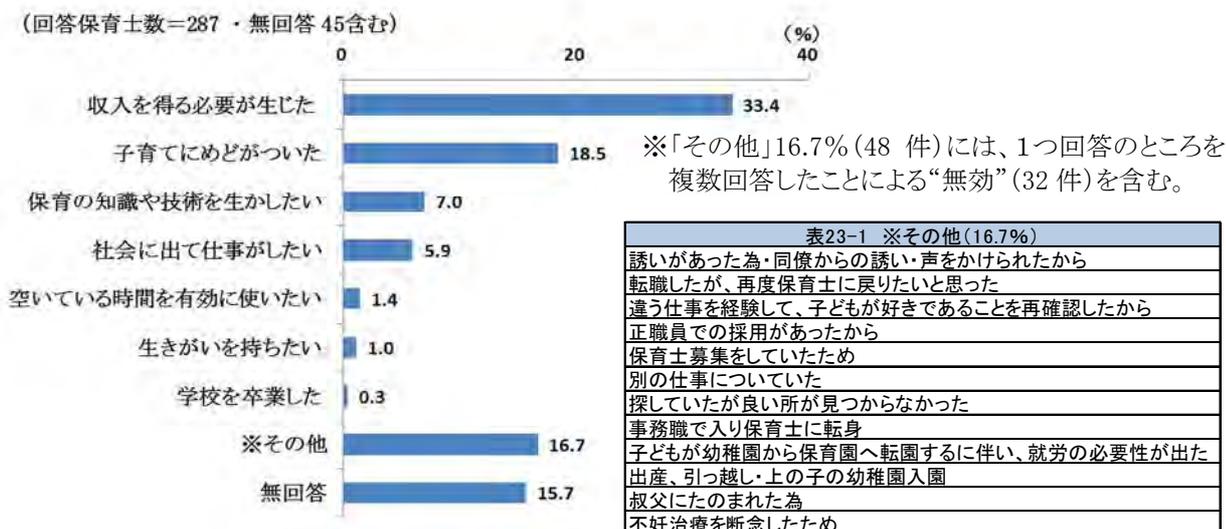


問 23 で再就職までの期間が 1年以上の方におうかがいします。

問 23-1 再就職した最も大きな理由は何ですか。(1つに○)

「収入を得る必要が生じた」が 33.4%で最も多く、次いで「子育てにめどがついた」が 18.5%、「保育の知識や技術を生かしたい」が 7%となっている。(図 23-1)

【図 23-1 再就職した最大の理由】



問 24 直近に退職した勤務先はどちらですか。(1つに〇)

「社会福祉法人等が運営する私立保育所」が62%で最も多く、次いで「公立保育所」が10.5%、「私立幼稚園(預かり保育)」が4.2%となっている。(図24)

【図24 直近に退職した勤務先】



問 25 勤務先を退職した理由は何でしたか。(あてはまるものすべてに〇)

「出産・育児のため」が19.7%(146人)で最も多く、次いで「結婚のため」が14.6%(108人)、「職場の人間関係がよくないから」が14.5%(107人)となっている。(図25)

【図25 勤務先を退職した理由】



表25 ※その他(15.7%)

保育士免許取得した為(以前は施設調理従事)
保育園での仕事をしたかったため
子どもとの関わりを充実させたかった為
現在の保育園に誘われたため・現在勤務の園長に誘われたため・転職(採用)のさそいを受けたので
現在の職場への就職が決まった為
紹介され、給与がアップになるため
主任保育士としての要請があったため
次の職場が決まるまでとの約束だった
民営化の為・姉妹園ができ(民営化)、そちらに異動になったため
公立が民営化するにあたって、以前働いていた場所から声をかけてもらったので
保育所閉所・閉園のため
臨時職員だったため・臨時だったので、やめなければいけなかった・臨時から正職の見込みがなかったから ・1年の臨時雇用の為
幼稚園で子どもの数が多くなり、10月から3月までのパートの契約だったため・出産、育児休暇の臨時職員だった為 保険、年金について、またいつ解雇されるかという不安があった
地元へ帰るため・地元へ帰ったため・地元での就職のため・県外で働いており、地元へ帰る為、退職
引っ越し・引越し(県外からの)
配偶者の転勤のため・夫の転勤に伴い通勤が困難になったため
自分のレベルをおとす事ができず負担が大きくなったため
正職では責任の重さ・事故への不安があるため
就労時間と休暇バランスが良くないと思っていたので
子ども減少で成り立たなくなった・子どもが減り、保育士が余った
仕事量が多く、毎日分きざみでたくさんの活動を義務付けられたり、高額な制服をそろえなければならなかったり、 (臨時職員でも)研修という名目で月々5000円を集められ、収支の報告もなかった、などなど
仕事が多すぎる為・持ち帰りの仕事が多いため
経営方針が合わなかった為
勤務先からの解雇・不当解雇・経営不振による解雇・急に2月末に退職を命じられた
期間(半年の契約)
会社の事業内容変更のため
家庭託児所が閉所になった
転勤のため・遠距離への転勤を言われた為
園長の考えについていけなかったため
園長から他に良い保育園があればそちらに行かれてもいいですよと言われ、辞めてくださいという意味なのかと 受けとめて、辞めました。生活がかかっているのに、とても不安でしたし、納得がいきませんでした
園長、主任、副主任のパワハラ・上司のいじめ、他の職員と差をつける
1年目に上司から「保育士に向いていない」と言われ、そのまま退職した
出勤しても、子ども的人数が少なければ帰ってといわれたことが多々あるため
院長の死去
資格取得ができなかった為
不妊治療を受けるため・妊活のため・妊娠中、切迫早産になった為
体調不良のため・腰痛悪化のため
上司(園長)の暴言、プライバシーの侵害によるストレスから、身心的に病んだ為
子ども進学のため
子どもが小学生になり、下校後、一人にできないため(早番・遅番ができない)
仕事は充実して楽しかったが、その分家族への負担が大きく、特に子どもの生活態度に問題を感じたため
家庭の事情・自営の手伝いのため・元夫が自営業を始めたので、手伝うため・留学

問 26 現在の職場を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「通勤が便利」が46.1% (341人) で最も多く、次いで「職場の人間関係がよい」が25.3% (187人)、「勤務時間が希望に合っている」が22.2% (164人) となっている。  
(図 26)

【図 26 現在の職場を選んだ理由】

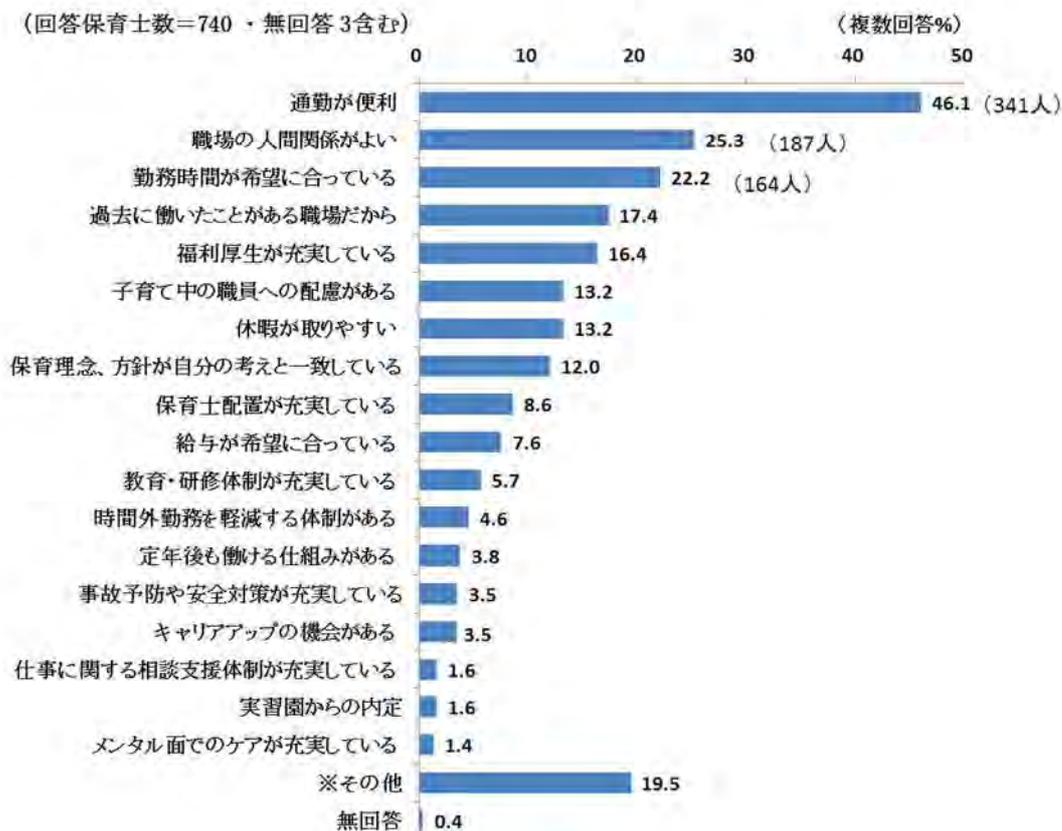


表26 ※その他(19.5%)

履歴書を見て、電話がかかってきた
保育士を募集していたため
正職員採用のため・正職員に希望のため
職安による紹介・市からの紹介
求人募集があったから・求人が出ており、働きやすいと聞いたから
一番はじめの求人条件が希望に合っていたから。現在は、家庭環境が変わり就労状況が変わった
ハローワークにすすめられた・ハローワークで求人を見つけた為
友人、知人に頼り、紹介
働きませんかと声がかかったから
働いている職員から声をかけて頂いたため
知人の紹介で、職探しもしていた為。←急に解雇を言われた
知人の紹介、当時人間関係が良かった
知り合いから、保育士不足で誘われた・他の保育士にすすめられた・同保育園より子どもが増えて声をかけてもらった

前勤務先(公立保育所)が閉所となり、現在の園が買いとる形に、前所の園長のすすめで試験を受け合格したため
前の職場の系列園だから
前に働いていた園長先生に進めていただいたので・上司に声をかけてもらったから・職員からの紹介
児童クラブで一緒に働いた友人の紹介
どうしても誘いがあったため
環境が良く施設見学をして決めた。
面接時の園長先生の第一印象と園の雰囲気・園の雰囲気を見て
園長(当時の事務局長)が素敵な人だったから、信頼できると思った
職場の上司の雰囲気が良かった為
周りの友人の評価がよかった
友達が働いていたから・知り合いの保育士がいたため
保護者、子どもへの愛情ある施設
保育内容
保育士として働きたいという希望があり、良い雰囲気の良い園だと感じられた
子どものかかわりが持てると思った
保育関係の仕事に戻りたかった為 独身→幼稚園勤務→子育てにめどがつき→介護施設(3年)→現在
伝承文化の神楽を取り入れ、また和太鼓の取り組みに興味があった
他の上司が守って下さると声を掛けて下さったから
小さい頃の夢だったから
将来正職員になれる可能性があったから
自分の子どもが通園していて、保育者の姿勢や方針が良いと感じていたから
事務と保育士どちらも資格を生かせると思ったから
資格を持っていたので、資格を生かそうと思った為、又、生活をする為
卒園した保育園だったため
配属されたので・前園からの異動
実習でお世話になり、求人時に声をかけてもらった
保育実習の際、実習園だった為・学生時代に実習に行っていた法人であるから・学生時代、実習した際に、よい雰囲気にみえたから
学校の紹介・学校からの推薦
親戚が経営している保育園だから
退職後に呼んでもらえた為
長年、働いていたから・正職で過去に働いたことのある職場だから・以前いた園の園長で尊敬できるから過去に働いた職場と同系列の園だから
地元だった・実家から近かった・家に近く、知人の紹介
勤務時間が希望にあっていたが、民営化の為、条件は変わった
2人の子どもを育てるため、前職場の園長先生から紹介をいただいた。生計を立てるため、何が何でも働く必要があったし、資格を活かしたかった
一定の収入を得るため・前職より給与が高かったから・収入を得なければ生活が成り立たないため・月給制だったから
子どもが成長し、保育士に復帰しても支障が無いと思えたから(実際は大変です)
産休代替で働くことになり、そのまま現在にいたる
近くがよかったが、異動があった為、遠くの園になった
我が子を預けたいと思った保育園へ一緒に就職したかった・我が子と同じ園のため
どの職場が良いのか、入ってみたいとわかりません、理由はこの中にはありません

問27 現在の職場を探す際、①利用した施設や媒体は何ですか。（あてはまるものすべてに○）  
また、②実際に就職に結びついた主な施設や媒体はどれですか。（主なもの1つに○）

① 利用した施設や媒体

「ハローワーク」が43.2%で最も多く、次いで「友人・知人による紹介」が38.6%、「過去に勤務していた職場による紹介」が15.7%となっている。（図27）

② 実際に就職に結びついた主な施設や媒体

「友人・知人による紹介」が30.1%で最も多く、次いで「ハローワーク」が24.9%、「過去に勤務していた職場による紹介」が12.7%となっている。（図27）

【図27 現在の職場を探す際に利用した施設や媒体】

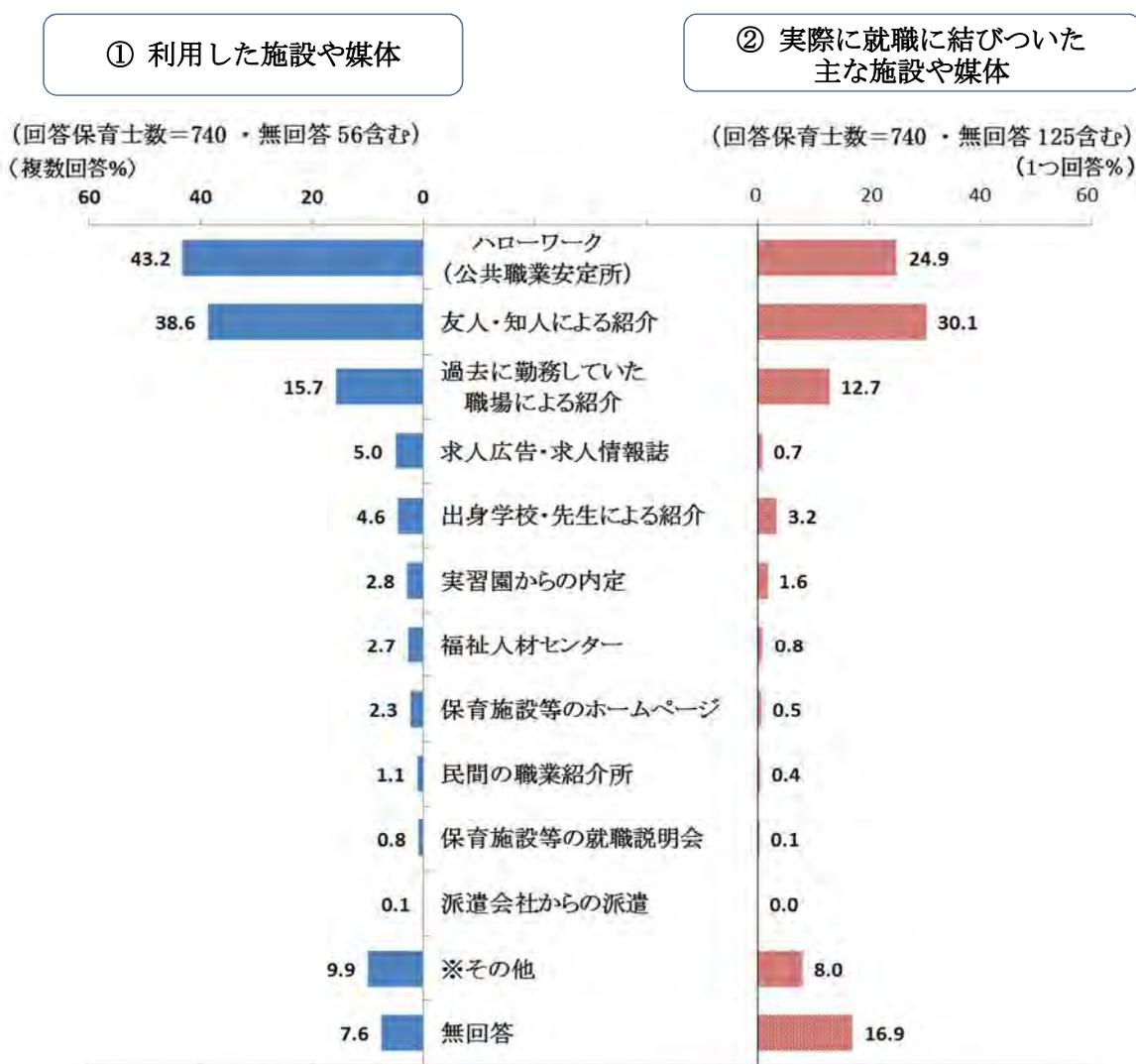


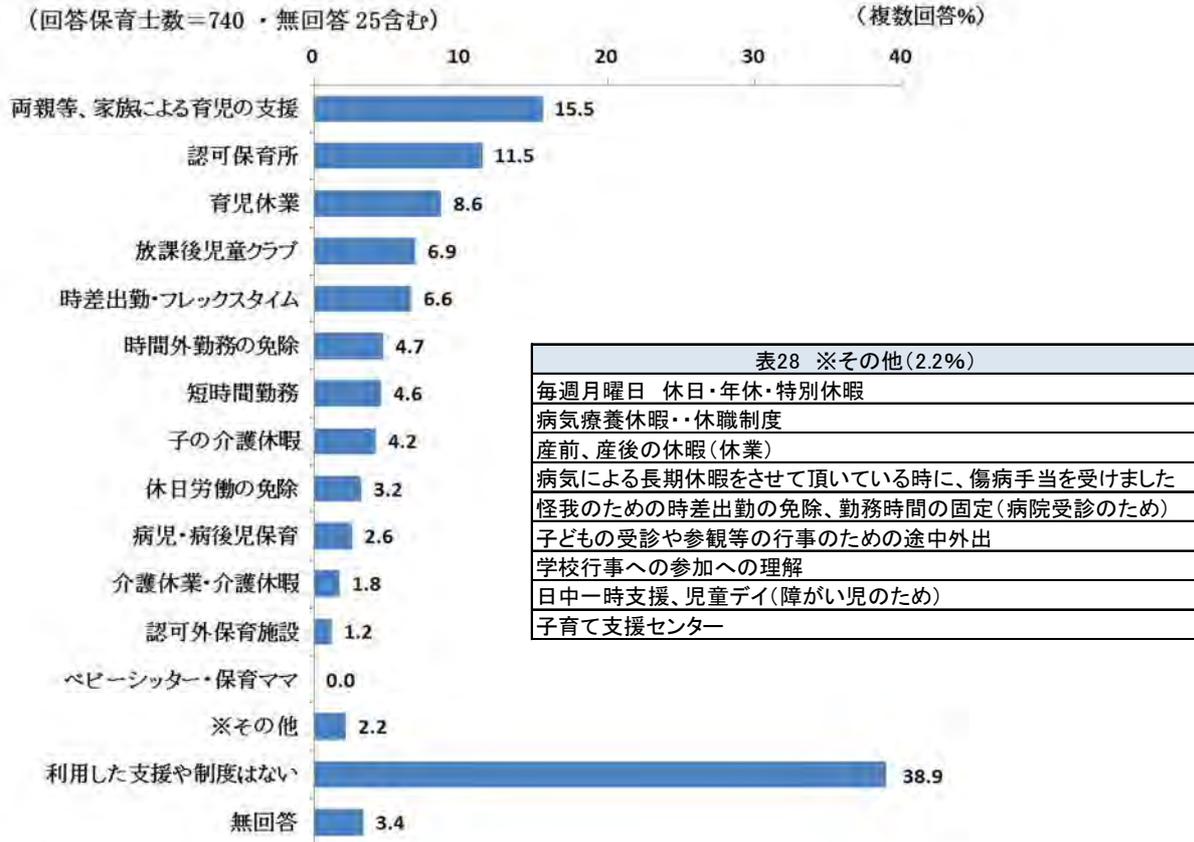
表27 ※その他(① 9.9%・② 8%)

求人案内・地域の広告・短大の求人案内	紹介・施設長の紹介・契約園の紹介
市役所・宮崎市の再雇用の保育士研修	過去の職場の声かけ・園からの声かけ
保育士登録	民営化に伴う異動
電話帳・直接園長に問い合わせた	出身園だったため
自分で履歴書を持ち込んだ・自分で直接TEL	実習経験から
探してはいなかったが声を掛けられた	子どもの園さがしの見学
前園長からの誘い・現園からの誘い・園長先生より依頼	家が近い所

問 28 現在の職場において利用した支援や制度等がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「両親等、家族による育児の支援」が 15.5%で最も多く、次いで「認可保育所」が 11.5%、「育児休業」が 8.6%となっている。(図 28)

【図 28 現在の職場において利用した支援や制度等】

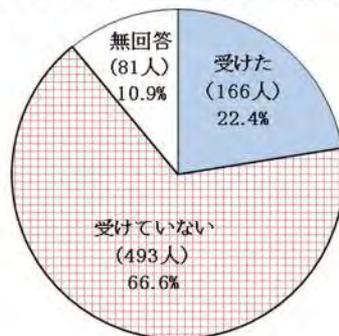


問 29 現在の職場への再就職前後に1日(全日)以上の研修を受けましたか。(1つに○)

「受けた」が 22.4%に対し、「受けていない」は 66.6%となっている。(図 29)

【図 29 現在の職場に再就職した際の研修の受講有無】

(回答保育士数=740・無回答 81含む)

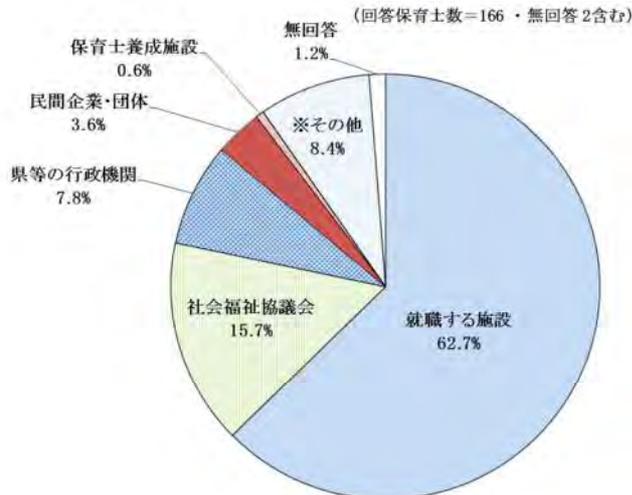


問 29 で「1 受けた」と回答した方におうかがいします。

問 29-1 どちらで研修を受けましたか。(主なものを1つに○)

「就職する施設」が 62.7%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が 15.7%、「県等の行政機関」が 7.8%となっている。(図 29-1)

【図 29-1 研修を受けた機関】



※「その他」8.4%(14 件)には、1つ回答のところを複数回答したことによる“無効”(11 件)を含む。

表29-1 ※その他(8.4%)
保育連盟連合会
系列の保育園
お寺での研修

問 29 で「1 受けた」と回答した方におうかがいします。

問 29-2 どのような内容の研修を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「保育実技」が 49.4%で最も多く、次いで「職員間のコミュニケーション」が 28.3%、「保育所保育指針」が 22.9%となっている。(図 29-2)

【図 29-2 研修内容】

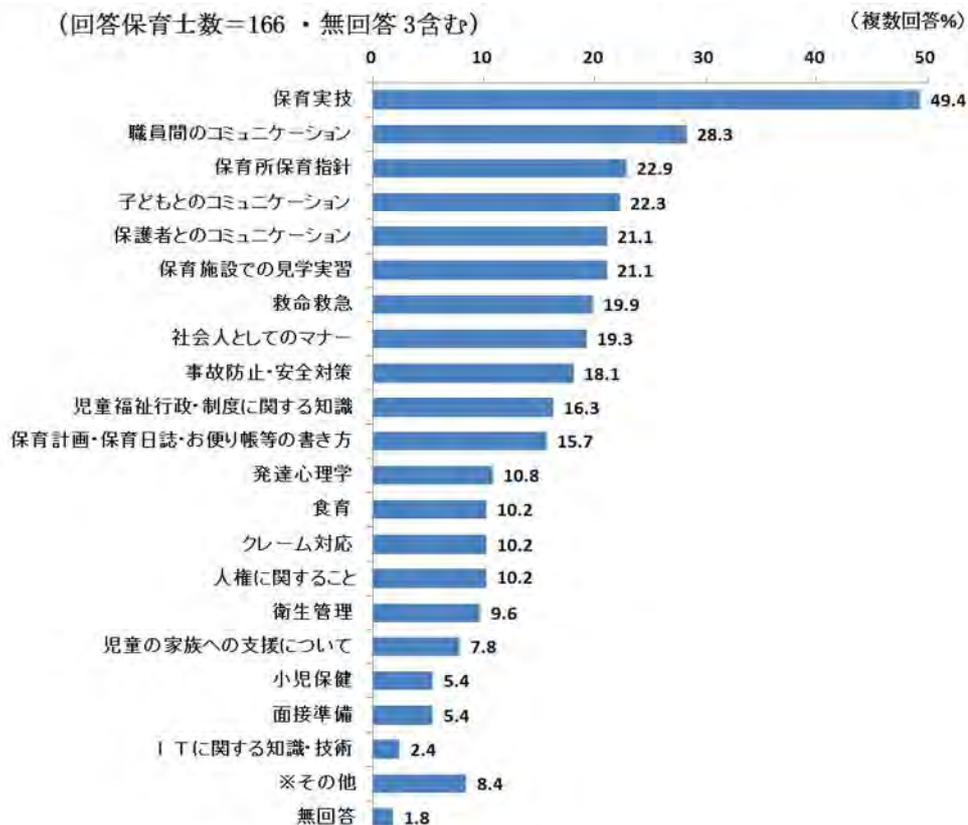
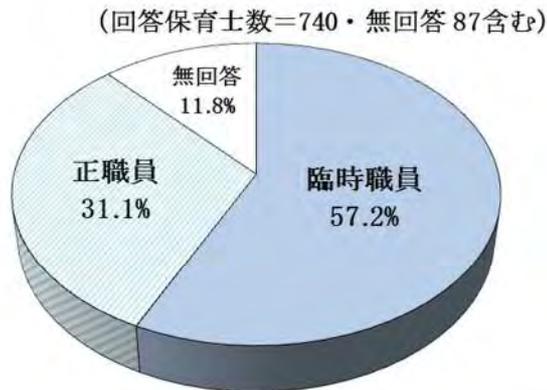


表29-2 ※その他(8.4%)
まことの保育・保育内容について
保育施設での実習・福祉に関すること全般
子育て支援・在園している子どものこと、保護者のこと、地域のこと など
リーダーシップの基本・職員としてのあり方
人間関係について、同僚との付き合い方、趣味をもつ事、自分を知ること
カウンセリング等
試験

問30 現在の職場への再就職時に希望した雇用形態を次の中から選んでください。  
(1つに○)

「正職員」31.1%に対し、「臨時職員」が57.2%となっている。(図30)

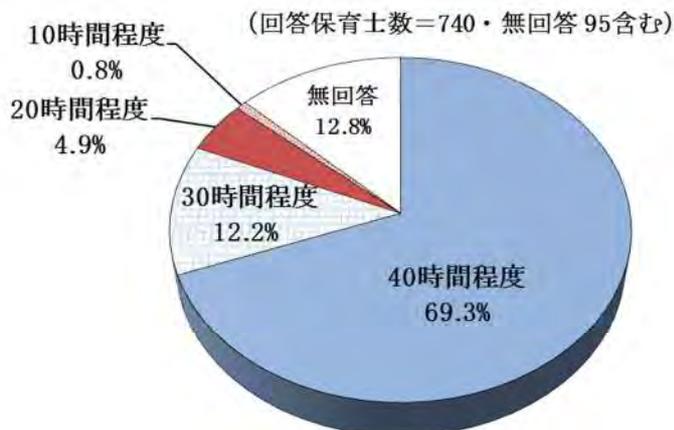
【図30 現在の職場への再就職時に希望した雇用形態】



問31 現在の職場への再就職時に希望した1週間あたりの労働時間はどれくらいでしたか。(1つに○)

「40時間程度」が69.3%で最も多く、次いで「30時間程度」が12.2%、「20時間程度」が4.9%となっている。(図31)

【図31 現在の職場への再就職時に希望した1週間あたりの労働時間】



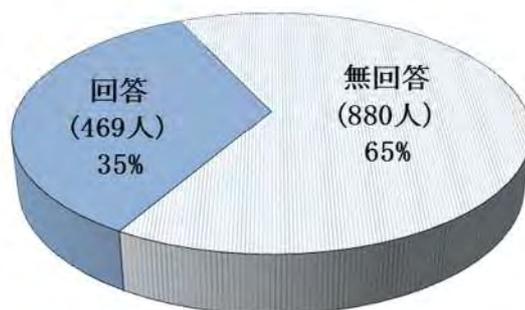
問 32 保育士としての就労や労働環境などについてご意見・ご提案などがございましたら、ご自由にご記入ください。

全体の 35%から意見・提案の回答があった。(図 32-①)  
 内訳は、「給与・手当」が 38.8%で最も多く、次いで「持ち帰り仕事」が 19.8%、「事務書類の軽減」18.6%となっている。(図 32-②)

※回答者 469 人 (35%) の意見・提案は一覧のとおり (表 32-1)

【図 32-① 就労や労働環境などについての意見・提案】

(回答保育士数=1,349・無回答 880含む)



【図 32-② 意見・提案の内訳】

(回答保育士数=469)

(複数回答%)

